

外資金庫法案特別委員會會議事速記録第五號

付託議案

- 軍需金融等特別措置法案
- 臨時資金調整法中改正法律案
- 戰時金融庫法中改正法律案
- 生命保險中央會法案
- 損害保險中央會法案
- 臺灣銀行法中改正法律案

昭和二十年二月二日(金曜日)午後一時三十分開會

○委員長(男爵東郷安宅) 開會致シマス、昨日ニ引續キマシテ軍需金融等特別措置法案ニ關スル御質問ヲ願ヒマス

○侯爵西郷吉之助君 第二十四條ノ條文ガゴザイマスガ、是ハ政府ハ場合ニ依ツテハ積極的ニ此ノ條文ヲ發動サレルヤウナ御意思ハアリマスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 事情ニ依リマシテハ發動スル考ヲ持ツテ居リマス

○子爵大岡忠綱君 第五條デスガ、此ノ間モ御説明ガアリマシタガ、此ノ第五條ノ中ニ「應ジ難シト認ムルトキハ」斯ウアリマスガ、此ノ「應ジ難シト認ムルトキハ」ト云フノハドンナコトヲ御考ニナツテ居ルノデスカ、御話ガチヨットアツタノデスガ、モウ一度一ツ……

○政府委員(橋田光男君) 申上デマス、例ヘバ事業ノ内容ガ非常ニ危險性ニ富ムデ居リマシテ、金融機關ガ自分ノ計算ニ於テハナカク其ノ融資ニ付テ危險性ガアルト思ハレルヤウナ場合デアリマス。或ハ中身ガ非常ナ高度ノ機密性ヲ持ツテ居リマス場合デアリマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 同シ場合モゴザイマスガ、多少違フ場合モ出テ参リマス

ストカ、大體サウ云フヤウナ場合ヲ豫想サレテ居リマス

○子爵大岡忠綱君 参考書類ヲ頂戴シタ中ニ、戰時金融ノ軍需會社ニ對スル貸出額ヲ御示ニナツテ居リマスガ、此ノ戰時金融以外ノ軍需金融ノ機關ノ指定ガゴザイマシタ曉ニ、是等ノ機關ノ主ナル貸出額ハドノ位ニ上ツテ居リマセウカ、又他ノ融資トノ割合ナソカニ付テ一應承ツテ置キタイ

○政府委員(小笠原三九郎君) 實ハ戰時金融庫以外ハ非常ニ機密ノ關係ガゴザイマスノデ、今迄ハ申上デヌコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマス

○古莊健次郎君 第七條ノ軍需金融擔當者ハ經營ニハ全然關係致シマセヌノデゴザイマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 事業ノ經營ニハ一切關係致シマセヌ

○古莊健次郎君 唯金ヲ出ストカ何トカニナリマス、自然經營ニ迄關係スルヤウナコトニ、結果シテナルヤウナ場合ガゴザイマセヌデセウカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 必要ナ書類等ヲ取リマスコトモゴザイマスガ、併シ此ノ限度ヲ大體決メテゴザイマスノデ、中ニハ軍需會社ノ性質上、非常ナ高度ノ機密等ヲ有スルモノモアリマス。ト云フヤウナ關係上、此ノ軍需會社ノ經營ニ立入ルト云フコトハ非常ナ弊害ガアルト云フ面ガ見ラレテ居リマス

○子爵大岡忠綱君 只今政務次官カラ御答ガゴザイマシタケレドモ、此ノ額

ニ付テハ機密ニ屬スルノデ、或ハ御發表出來ナイト思ヒマスガ、後段ニ伺ヒマシタ他ノ融資トノ割合等ニ付テハ、多少伺ツテ置クコトガ出來レバ、願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 現在銀行貸出ノ大體四割位ガソレニ相當致シテ居リマスガ、其ノ程度デ一ツ御了承ヲ賜リタイト存ジマス

○侯爵西郷吉之助君 先程政務次官ノ委員ニ對スル御答ガゴザイマシタガ、事業會社ノ經營ニハ「タツチ」シナイト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、能ク銀行ハ相當ノ金額ヲ事業會社ニ融資シマス、其ノ經理擔當ノ爲ニ役員ニ人ヲ入ルト云フヤウナ場合ガ多々見受ケラレマスガ、今度ノ場合ハサウ云フ風ナ、例ヘバ監督役ヲ入ルトカ、經理部長ヲ入ルト云フ風ナコトモ寧ロ禁止ナサル御意向デスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 積極的ニ禁止スルト云フコトハ致シマセヌデゴザイマシテ、若シ其ノ會社ガ經理ノ刷新、或ハ改善等ノ爲ニ、求メテ参リマスレバ左様ニ致シマスガ、銀行側ヨリ、軍需金融機關ノ方カラ積極的ニ人ヲ入レルト云フコトハ致シマセヌコトニ相成ツテ居リマス

○子爵大岡忠綱君 十條ノ、軍需金融機關ニ對シ擔當事業者ニ對スル資金ノ融通ノ場合ニ、事業者ノ預貯金其ノ他ニ關スル利率、期限、手數其ノ他ノコトハ命令ニ依ツテ定メラレルコトニナツテ居リマスガ、此ノ御見込ハ何ツテ置ケマセウカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 昨日申上デマシタノハ、實ハ借入金ガ百萬圓以上ト云フコトデゴザイマス、資本金

○政府委員(小笠原三九郎君) 昨日申上デマシタノハ、實ハ借入金ガ百萬圓以上ト云フコトデゴザイマス、資本金

○政府委員(小笠原三九郎君) 昨日申上デマシタノハ、實ハ借入金ガ百萬圓以上ト云フコトデゴザイマス、資本金

○政府委員(小笠原三九郎君) 昨日申上デマシタノハ、實ハ借入金ガ百萬圓以上ト云フコトデゴザイマス、資本金

○政府委員(小笠原三九郎君) 昨日申上デマシタノハ、實ハ借入金ガ百萬圓以上ト云フコトデゴザイマス、資本金

ニハ關係致シマセズデゴザイマス

○子爵眞松友光君 昨日御説明ヲ承リマシタコトニ付キマシテハ了承致シマシタレドモ、此ノ運用ニ付テ、金融機關相互ノ間ニ摩擦ノナイヤウニシテ戴キタイと思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ如何ナモノデスカ

ト申シマスノハ、現在日本興業銀行ノ債券發行限度ガ臨時資金調整法デ五十億ニナツテ居ルノヲ、百億圓ニ改メルト云フコトデゴザイマス、現在興業銀行法第十六條ニ規定サレテ居リマスノハ、丁度拂込資本金ノ十倍デアリマスカ、八億七千五百萬圓ニナルノデゴザイマス、處ガ此ノ臨時資金調整法デ五十億圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ五十八億七千五百萬圓、斯ウナツテ居ルノデゴザイマスガ、本年上期末ノ債券發行額ハモウ既ニ五十三億九千八百萬圓ト云フコトニナリマシテ、發行餘力ガ四億七千七百萬圓シカゴザイマセヌ、サウ云フヤウナコトニ相成ツテ居リマスルシ、一方同期末ノ貸出殘高ヲ見マスト、八十億ヲチヨツト越シテ居ルト云フコトニモナツテ居リ、昨年ノ末ハ百五億ニ相成ツテ居ルノデゴザイマスカラ、本法ニ依リマシテ五十億圓ヲ百億圓ト改メ、百八億七千五百萬圓ノ債券發行限度ニ擴張スル、斯ウ云フノガ最初デゴザイマス、其ノ次ノ日本勸業銀行法ノ分ハ、是ハ勸業銀行法ノ第三十一條ノ但書ノ所ニ規定ガゴザイマシテ、特別當座預金トカ、サウ云フヤウナ短期預金ノ預入額ガ、拂込資本金及預立金ノ總額ヲ超エマシタヤウナ場合ニハ、是ガ適用サル、ノデゴザイマスガ、今日地方デモ相當預金ガ殖エテ居リマスノデ、貯蓄増強ノ見地カラ短期預金ノ受入限度ヲ擴張シテ、貯蓄ノ増加ヲ圖ラシメル、斯ウ云フ點カラ此ノ規定ヲ適用シナイ、斯様ニ改メテ戴キタイト云フ趣意デゴザイマス、ソレカラ後ノ分ハ大體是ハ貯蓄關係ノ分デゴザイマスカラ、貯蓄局長ノ方カラ御説明致シタイト存ジマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 運用ニ付キマシテハ、御趣旨ノ通り取計ラヒタイト考ヘテ居リマス

○子爵眞松友光君 或ハ一箇所ニ指定金融機關ノ多クガ集ルト云フヤウナコトガアリハシナイカと思フノデゴザイマスガ、其ノ點ハドウ云フモノデスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 大體トシマシテハ、昨日モチヨツト御説明申上ゲマシタヤウニ、資本ノ構成トカ、取引ノ關係トカ、地域其ノ他色々ノ營業内容等ヲ勘案シマシテヤリマス關係上、又當該軍需金融機關ノ資金狀況等モ勘案致シマスルカラ、餘リ集中ノハチラスト云フヤウニ持ツテ參リタイト存ジテ居リマス

○委員(男爵眞松安君) 如何デスカ、此ノ法案ニ付キマシテモウ御質疑ガゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ一應此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、又後日此ノ案ニ付キマシテ、御質問ヲ爲サル機會ヲ十分ニ作リタイと思ヒマスガ、左様御了承願ヒマシテ、次ニ臨時資金調整法中改正法律案ニ移リタイと思ヒマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 之ニ付テ簡單ニ要領ダケヲ御説明申上ゲテ見タイと思ヒマス、實ハ何條々ト云フコトニナツテ居リマシテ、チヨツト面倒デゴザイマスカラ、要領ダケヲ申上ゲサシテ戴キマス、最初ノ、第六條第一項中「五十億圓」ヲ「百億圓」ニ改ム、

○政府委員(眞家武君) 第十條ノ五ノ第二項ノ次ニ一項ヲ加ヘマシタノハ、是ハ第一項ニ規定シマス債券ガ社債デアリマス場合ニ、商法ノ三百六條第二項ノ規定ニ拘ラズ、勅令ヲ以テ別段ノ定メヲシマシテ、社債面ニ記載スル事項ヲ簡單ニシタイ、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス、券面ノ狭イ所ニ色々ナコトヲ印刷スルト云フコトニナリマスノデ、發行上色々不都合ナコトガアリマスノデ、之ヲ簡略ニシタイ、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス、次ノ十條ノ六ハ、十條ノ十二ニ規定シマス所ノ證券、即チ富籤式ノ證券デゴザイマス、之ニ對シマシテ通貨及證券模造取締法ヲ適用シテ行カウ、斯ウ云フコトデゴザイマス、十條ノ十二、是ガ新シク加ハリマシタ規定デゴザイマシテ、何處ニモ富籤ト云フ名前ガ付テ居ラナイノデアリマスケレドモ、是ガ世間デ能ク言フ富籤ニ關スル規定デゴザイマシテ、此ノ一條ニ總メテ書イテアリマス、今回賣出シマスル際ニハ、富籤ト云フ名前ヲ使ハズニ勝札ト云フ名前デ行キタイと思ツテ居リマス、又此ノ規定ヲ外地ノ方デ矢張り使フ場合ガアルノデアリマスガ、サウ云フ時ニハ、又勝札ト云フ名前以外ノ名前ヲ使ツテ賣出スト云フヤウナコトニナルデアラウト思フノデゴザイマス、第一項ニ大變ムツカシイ書キ方ヲ致シテアルノデアリマスガ、是ガ所謂富籤式證券ノ定義トモ申スベキモノデゴザイマス、政府ハ資金ノ吸收ヲ圖ル必要アリト認ムル時ハ、命令ノ定ムル所ニ依リ、命令ノ定ムル法人ヲシテ賣得金ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ購買者ニ當籤金ヲ交付スルコトヲ得ル證券ヲ發賣セシムルコトヲ得ル、斯ウ云フヤウニ規定致シタノデゴザイマス、第二項ニハ、此ノ證券ノ發賣ニ依リマシテ、

發賣ヲ取扱フ機關ニ於キマシテ相當ノ利益金ヲ得ルコトニテリマス、ソレハ全部政府ノ納付サセル、斯ウ云フ規定デゴザイマス、各國ノ例ヲ見マスト、大體ニ於テ富籤式證券ヲ發行シマス主體ハ政府ト云フノガ多イデアリマス、併シ色々手續上面側面關係モ起リマスシ、又幸ヒ我が國ニハ日本勸業銀行ガアリマシテ、是ガ割増金附ノ債券ヲ賣ルコトニ付キマシテ、經驗モアリ又各地方ニ機構モ持ツテ居リマスノデ、之ヲ利用シテ行ク方ガ簡便デアラウト云フノデ、日本勸業銀行ニ取扱ハシメルコトニ只今考ヘテ居ルノデアリマス、就キマシテハ、大體日本勸業銀行カラ此ノ發賣ニ依ツテ得マシタ所ノ利益金ヲ政府ニ納付サセル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、豫算書ノ方デ既ニ御承知ト思ヒマスガ、此ノ納付金ハ臨時軍需費ノ財源ニスルコトニ致シマシテ、昭和二十年度ニ於キマシテ三億圓ヲ見積ツテアリマス、是ハ大體一回一億五千萬圓、四回賣出ストシテ六億圓、其ノ半分見當ヲ納付サセルモノト云フ見込方デ計上致シタルノデアリマス、第三項ハ此ノ勝札ノ發賣ニ依リ利益ト經費トヲ、取扱銀行ノ利益及損金カラ稅法上ハ控除スル斯ウ云フ意味ノ規定デゴザイマス、尙本條ノ最終ヒノ方ニ、資金吸收特別方策委員會ヲ設置スルト云フコトヲ規定致シテアリマスガ、是ハ矢張り他ノ例ヲ見マシテモ斯ウ云フ證券ノ發賣ニ付キマシテハ、相當慎重ナヤリ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、單リ賣行ニ關係スルト云フバカリデナク、條件ノ定メ方ニ依リマシテ、色々他ノ方面ニ影響ヲ及スト云フヤウナ虞ガアリマスノデ、我が國ニ於キマシテモ、殊ニ最初ノ試ミデモア

リマスルカラ、發賣ノ金額デアルトカ、或ハ當籤金ノ付ケ方デアリマストカ、或ハ是ノ發賣方法ト云フヤウナ重要ナ事項ハ、資金吸收特別方策委員會ニ於テ、審議ヲ重ネマシタ上デ決定スル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ラウト考ヘテ居ルノデアリマス、次ハ第十條ノ十三デゴザイマス、國民貯蓄運籌委員會ト云フモノヲ置クコトノ規定デゴザイマス、色々最近貯蓄ニ關シテ問題ガ起ツテ參ツテ居ルノデアリマスガ、殊ニ貯蓄ノ内デモ、所謂割當貯蓄ニ付キマシテ問題ガ多イヤウデゴザイマス、來年度ノ大キナ目標額ノ中、サウ大部分ガ割當式ニ行クノデアリナイノデアリガ、全體ノ貯蓄ノ四分ノ一トカ或ハ五分ノ一トカ云フ程度ノモノデアリマスルケレドモ、是ガ色々世間ノ問題ニナルノデアリマス、段々目標額モ増加スルニ連レマシテ、勢ヒ割當式ニ推進サレル貯蓄ノ額モ多クナルト思フノデアリマス、從ヒマシテモウ少し割當ノ基準ニ付キマシテ關係方面ノ意見ヲ聽イタ上デ決メテ行クト云フヤウナコトガ必要デアルト云フ聲ガ多イノデアリマス、今回都道府縣ヲ單位トスル運籌委員會及市町村ヲ區域トスル運籌委員會ト云フヤウナモノヲ必要ニ應ジテ設置スルコトニ致シマシテ、此處デ只今申上ゲマシタ割當貯蓄ノ基準ニ關スルコトヲ審議サセル、又割當貯蓄ノ中デモ、例ヘバ地域貯蓄ト職域貯蓄トニ付キマシテ調整ヲ要スルヤウナコトガアリマスレバ、ソレ等ノ調査ヤ斡旋モサセル、貯蓄ノ取扱機關ノ間デ無用ノ貯蓄勸奨ヲ行ツテ、却テ弊害ガアルト云フヤウナ場合ニ、調整、斡旋ノ役ヲ取ラセルト云フヤウナ、貯蓄ニ關スル仕事ヲシテ貰フト云

フヤウナ考へ方デゴザイマス、十四
條ノ五、是ハ印紙税ノ免稅ノ範圍ヲ擴
張スルコト云フ規定デゴザイマス、ソレ
カラ十四條ノ六、是ハ矢張り割増金ト
カ、或ハ當選金トカ云フモノノ一部分
ヲ有價證券デ交付スル場合ニ於キマシ
テ、有價證券移轉税ヲ免稅シテヤルト
云フコトノ規定デゴザイマス、是モ
從來アリマシタモノヲ多少擴張シテ行
クト云フコトデゴザイマス、オ終ヒハ
罰則ノ規定デゴザイマス、大體以上御
説明申上ゲマシタ

○委員長(男爵東郷安宅) 御質問願ヒ
マス

○松本泰治君 私ハ第十條ノ十二ノ所
謂富籤ニ付キマシテ伺ヒタイノデアリ
マス、是ハ議論ヲシマス、色々ナコ
トガアリ得ルノデ、斯ウ云フコトヲナ
サルコトハ結構ダガ、私ハ運用ニ付テハ
大藏省御當局ノ御考トハ少シ違フ考ヲ
持ツテ居リマスガ、斯ウ云フコトヲ今
伺フコトハシナイ積リデアリマス、法
律ノ二唯伺ツテ見タイノハ、是ハ今政
府委員ノ御説明ノヤウニ、矢張り實質
カラ申シテ富籤ダと思フ、富籤ヲ實質
タリ買ツタリスルコトハ、確カ刑法デ
ハ大變ニ重罰ガアツタヤウニ思フノデ
ス、此ノ法律デ之ヲヤツタ者ニ付テ
ハ、勿論其ノ刑法ノ規定ハ適用サ
レナイコトト思フノデスガ、何處カ
ニ刑法ノ規定ヲ適用シナイノダト云フ
コトガ書イデアリマス、或ハ是ハ法
律デ斯ウ書イタモノダカラ、仍テ當然
刑法ノ適用ハ是デ除外サレルノダト云
フコトナノデアリマス、ドチラデア
リマスカ

○政府委員(氏家武吉) 此ノ點ハ實ハ
此ノ規定ヲ考ヘマス際ニ私共モ氣ガ付
キマシテ、色々首ヲ捻ツテ見タノデア
リマス、司法省アタリトモ相談ヲ致シ
テ見マシタガ、其ノ結果、法律デハツ
キリ斯ウ云フ風ニ認メル以上ハ、之ヲ
取扱ツタ者ニ付テ刑法ノ規定ハ適用サ
レナイノダト云フコトヲ、別ニ規定シ
ナクテモ、當然ノコトト考ヘテ宜シカ
ラウト、只今御話ノ後段ニ御意見ガゴ
ザイマシタガ、ソレト同ジヤウナ考ヘ
方デ、此處ニハ一切出サナイコトニ致
シタノデアリマス

○松本泰治君 多分サウト思ヒマシタ
ガ、ソコデ今ノ御話デハ、外地デモ斯
ウ云フモノヲ出スダラウト云フ御話デ
ス、外地デ出サレル時ハ、恐ラクハ法
律デハ出サレナイノダラウト思フノデ
ス、法律デ御出シニナルナラ此處ヘ外
地ノ方モ御出シニナル譯デス、サウス
ルト外地デ、例ヘバ制令トカ何トカ云
フヤウナモノデ御出シニナツタラバ、
是ハ日本ノ刑法ノ規定ヲ變更スルコト
ガ出來マセウカ、今外地デモ出スヤウ
ナコトヲ御話ニナツタガ、ソコハドウ
ナツテ居リマスカ

○政府委員(氏家武吉) 本法ハ外地ニ
モ適用ニナルコトニナルノデアリマス、
從ヒマシテ矢張り別ニ規定ヲシナク
トモ、外地デモ之ヲ賣買シタ者ヲ處罰ス
ルト云フヤウナコトニハナラナイ、斯
ウ云フ考ヘ方ヲ致シテアルノデアリマ
ス

○松本泰治君 其ノ點ハ能ク分リマシ
タ、然ラバ今度進ミマシテ、例ヘバ滿洲
國其ノ他我が國ノ親交國ガ類似ノモノヲ
既ニ出シテ居ルヤウニ思ヒマス、又是カ
ラ出サレルコトガ頻繁ニアラウト思ヒ
マス、サウ云フモノヲ日本人ガ賣買シ
タ場合ニハ、刑法ノ適用ガアルノデハ
ナイカト思ヒマスガ、ソレハドウナン
デスカ

○政府委員(氏家武吉) 其ノ點ニ付キ
マシテハ、マダ司法省ノ方ト打合せヲ
致シテ居リマセヌノデ、尙向フト協議
シマシタ上デ御答(申上ゲタイ)思ヒ
マス

○松本泰治君 此ノ點ハ相當重要ナコ
トト思ヒマス、日本デ出シタモノハ賣買
シテモ罪ニナラヌ、滿洲國ノ彩票トカ
申スカ、何カ存ジマセヌガ、サウ云フ
モノヲ賣買スル、確カ日本ノ刑法
デハ、日本人ガヤレバ、向フデヤツテ
モ日本ノ刑法ノ適用ガアルノデハナイ
カト思ヒマス、日本ノ刑法ノ建前ハ……、
併シ私ハ刑法ハ全然門外漢デ存ジマセ
ヌ、假ニ之ヲ日本ニ持ツテ來テ賣買ス
ルト相當問題デハナイカト思フ、今迄
ハ斯ウ云フモノガ日本ニハナカッタカ
ラ、問題ハ餘リナイト申スカ、銳角ガ
ニハ出テ來ナカッタラウト思ヒマスガ、
是カラハ日本ノハ宜シイガ、外國ノハ
イカヌト云フコトニナルト、相當ニハ
厄介ナコトデハナイカト思フノデス、
若シ私ノ解釋ガ正シイトスレバ……、私
ハ刑法ノコトハ全ク門外漢デ分リマセ
ヌノデ、本當ニ質疑ヲ致スノデス、出
來ルコトナラバ、刑事局ノ分ツタ方ニ此
處ヘ來テ實ツテ、政府委員ナリ或ハ補
助員トシテ、其ノ點ニ付テ述ベテ戴キ
タイト思フ、是ハ大變ニ配ナコトノヤ
ウニチヨツト考ヘマス、是デ私ノ此ノ
點ニ關スル質問ハ、其ノイラツシヤル
迄待ツテ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵東郷安宅) 松本君ニ伺
ヒマスガ、今日直グ……
○松本泰治君 イヤ、何時デモ宜シウ
ゴザイマス
○子爵松平親義君 先達テ來、昭和二
十年度ノ國家ノ資金計畫ヲ伺ツテ居ル
ノデスガ、ソレニ依リマス、約國民

ノ貯蓄目標額六百億、詰リ其ノ中公債
ガ四百七十億、ソレカラ產業資金ガ百
三十億、斯ウ云フコトニナツテ居リマ
スガ、只今此ノ御説明ニ依リマス、富
籤ヲ發行スル此ノ金額ト云フモノガ、
一回ガ一億五千萬圓、之ヲ四年四回トシ
テ約六億、斯ウ云フコトニ相成リマス、
ソレカラ尙此ノ外ニ最近福票ト云フヤ
ウナモノモ發行シテオイデニナリマス
シ、又彈丸切手ト云ツタヤウナモノモ
發行サレテ居リマス、斯ウ云ツタヤウ
ナモノガ總額ニ於キマシテ幾ラニナリ
マスガ、私モ實ハ存ジナイノデアリマ
スガ、斯ウ云フモノガ發行サレルト云
フコトニナリマス、ソレ等ニ相當ス
ルダケノ額ト云フモノガ、只今申上ゲ
タ國家資金計畫ノ中ノ四百七十億ノ公
債ノ方ニ喰ヒ入ツテ行ク、詰リソレダケ
是等ノ富籤ガ發行サレルコトニ依ツテ
公債ノ消化ガ鈍ル爲ニ、四百七十億全
額ガ消化サレナイト云フヤウナコトニ
ナルト思ヒマスガ、其ノ邊ハサウ云フ
風ニ承知シテ宜シイノデセウカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 所謂此
ノ富籤ノ分ニ付キマシテハ、是ハ國家ノ
收入ニ立テマスノデ、謂ハバ財政資金
ノ方トシテハ、公債ニ付キマシテハ松
平子爵ノ仰セノ通りデアリマスガ、其
ノ分ダケハ國家ノ方ノ所謂財政資金ト
シテノ其ノ點ニハ狂ヒハゴザイマセヌ
次第デゴザイマス、ソレカラ尙今ノ
福券ノ如キモノハ、是ハ貯蓄ノ方ノ中
ヘ入レテ居リマスルカラ、此ノ點ハ在
來ト變リハナイト考ヘテ居リマス

○子爵松平親義君 只今ノ御話デ、富
籤ノ方ハ國家ノ財政資金ノ方ニ入ルン
ダカラ影響ガナイ、斯ウ云フコトデ分
リマシタガ、彈丸切手ノヤウナモノ、
或ハ福券ノヤウナモノ、是ハ矢張り國民

ノ貯蓄目標額六百億ノ中ニ入リマスノ
デセウカ
○政府委員(小笠原三九郎君) 仰セノ
通り入ルノデゴザイマス、但シアノ
福券ニ付キマシテハ、大體後一同位デ、
富籤ノ準備ガナリマスレバ、モウ止メ
タイト云フ考ヘヲ致シテ居ル次第デゴ
ザイマス

○子爵松平親義君 サウシマス、矢
張り公債ノ消化ガ百「パーセント」ニ行
カナクテモ宜イ、詰リ其ノ福券ノ發行
額ダケハ公債ナリ產業資金ナリノ目標
額ガ達セラレナイト云フコトガアツテ
モ、別ニ心配スベキコトハナイト、マ
アソレハソレ以上ニ福券ガ賣レルト云
フコトハ結構ナコトデアリマスガ、假
ニサウナラナイデ、福券ガ賣レバソ
レダケ公債ガ消化サレナイデモ、兎ニ
角資金計畫ハ成リ立ツト云フ風ニ考ヘ
テ宜シイノデセウカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 福券ガ
賣レマスルダケ、謂ハバ貯蓄ノ力ヲ加
ヘテ居リマス譯デ、自然公債ノ消化ニ
モ役立ツヤウニ考ヘルノデアリマス
○子爵松平親義君 モウ一點、國民貯
蓄運籌委員會ノコトデ伺ヒタイノデス
ガ、是ハ此ノ參考書類ヲ拜見シマス、
諮問機關ノヤウナコトニナルト思ヒマ
ス、詰リ市町村或ハ區ノ區域ニ置ク所
ノ運籌委員會ハ、諮問機關デアルト云
フコトニナレバ、之ヲ運籌スルカシナ
イカハ、其ノ市町村長ナリ區長ナリノ
裁定デ、自由ニ任サレテ居ルト云フ風
ニ考ヘテ宜シイノデゴザイマセウカ
○政府委員(小笠原三九郎君) 此ノ運
籌委員會ハ仰セノ通り諮問機關デゴザ
イマシテ、國債貯金ノ確保消化トカ、
或ハ貯蓄ノ制當金ヲドウスルカ、或ハ
貯蓄ノ事項ヲドウ云フヤウニ處置スル

カト云フヤウナコトヲ諮問シマス、大體諮問シマスノハ都道府縣ニアリマシテハ地方長官、市町村デアリマスト其ノ市町村長、東京デアリマスレバ區、サウ云フノガ斯ウ云フコトヲ諮問スルト云フコトニ相成ルノデアリマスガ、同時ニ單ニ諮問バカリデナク、次ノヤウナ事項ヲモ調査シ給ヒタルコト云フコトモ、ヤツテ實ヒタイト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ地域貯蓄ト職域貯蓄ノ調整ガヤカマシク言ハレテ居リマスノデ、ドウ云フ風ニ其處ヲ調整シテ行カト云フコトニ付テノ調査等モヤツテ貰フ、又各種貯蓄ノ取扱機關ガ、言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、色々取合ツテ居ル部分ガアリマシテ、彼此摩擦ヲ生ジテ居ル部分モゴザイマスノデ、ソレ等ニ對スル調整方ニ付テモ調査ヲシテ貰フ、或ハ又是正方ヲドウ云フ風ニシタル宜イカト云フコトモヤツテ貰フ、左様ナコトモ此ノ運營委員會ニ依頼シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○子爵松平親義君 國債貯金ノ隣保消化、或ハ其ノ他ノ詰リ割當基準ノ策定ニ關スル事項、斯ウ云フヤウナコトハ諮問事項トシテ擧ツテ居ル譯デアリマスガ、此ノ割當基準ト云ツタヤウナモノハ大體大藏當局アタリデ各市町村ニ御手本ノヤウナモノヲ御示ニナルノデアリマセウカ、ソレトモ全然各市町村ニ其ノ基準ヲ任サレテ、市町村ニソレゾレ其ノ實情ニ即シタル所ノ基準ヲ立テサセルト云フヤウナ御考デアリマセウカ、ソレガ第一、ソレカラモウ一ツハ、假ニ其ノ基準ガ其ノ市町村ヲ策定ヲサレテ來タト云フコトニナリマシタナラバ、隣保消化アタリハドウシテモ其ノ基準ニ依ラナケレ、バイケナイノ

カ、其ノ基準ハ一ツノ唯參考ニシテヤツテ宜イノカ、ソレトモ其ノ基準ニドウシテモ從ハナケレバナラヌモノデアリマセウカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 此ノ基準ニ付キマシテハ、大體國ノ方デ一應ノ基準ヲ、在來ノ貯蓄成績其ノ他色々ノコトヲ參酌シテ、示スノデアリマス、併シナガラ其ノ實情ニ大分所ニ依リマシテ、例ヘバ工場ガ盛ンニ興ツテ居ル地帯アルトカ、或ハ又純粹ナ農村地帯アルトカ、事情ガ多少違フ所モゴザイマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテ都道府縣デ、國ノ方カラ大體ノ標準ハ指示シマスケレドモ、又其處デ一應ノ標準ヲ立テルコトニ相成リマス、又更ニ市町村ノ方ニ於キマシテハ、例ヘバ東京都ノ如キ例デ申シマス、所謂山手ノ方ト下町ノ方、或ハ工場地帯等デ、大分事情モ違ヒマスノデ、又其處デモ若干ノ之ニ對スル標準ノ調整ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ工合ニ致シマシテ實情ニ即シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、殊ニ新興所得階級ト云フコトノ問題ガ近頃ヤカマシク申サレテ居リマスガ、此ノ新興所得階級ヲ擧ヘルト致シマシテモ、稅ノ方ト貯蓄ノ方トノ二面カラヤツテ參ルノデアリマシテ、稅ノ建前ト致シマシテハ取ラウト云フ建前ガ出來テ居リマシテモ、實際問題ト致シマシテハ所得ノ算定ガ困難デ、ナカ／＼取レナイ所モゴザイマスノデ、稅ノ方デモ一ツノ機動部隊ヲ作リマシテ色々ヤツテ居ルノデアリマスガ、又各所デ連絡シタルコトニナツテ居リマス、貯蓄ニ付キマシテモ矢張り同様ナ考ヘ方ヲ致シテ居リマシテ、新興所得階級ノ方カラ出來ルダケ多ク貯蓄ヲシテ實ヒタイ、ソレニハ隣組

其ノ他デ實情ニ應ジテ、例ヘバ同ジ五千圓ナラ五千圓ノ收入ヲ見マシテモ、大キナ家ノ構ヘヲシテ居ル方、或ハ名前ノ知ラレテ居ル方ハ比較的餘計貯蓄ヲシテ貰ヒ、又小サイ家デ收入ガ非常ニ多イ方、是ハ此ノ頃ハ一樣ニハ參リマセヌガ、サウ云フ所デ出來ルダケ貯蓄ノ目的ヲ達スルヤウニサセル、ソコデ標準ノ一ツト致シマシテハ見立割ト云フモノヲ今度少シ入レルト云フコトニ致シマシテ、町會等デ或程度見立ガ出來ルト云フ風ニ致シマスルト云フコト、餘程其ノ目的ヲ達シ得ルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ標準ヲ色々今迄ノ如ク都民稅一本ノ標準トカ、或ハ稅金一本ノ標準トカ、斯ウ云フコトデアリマスルト云フコト、例ヘバ稅金ハ此ノ頃ハ非常ニ高イト申シマス、所得ガ多イ者ハ貯蓄ニ苦シミニナツテ居ルト云フヤウナ實情ガゴザイマスノデ、サウ云フ點ヲ細カク太體ノ標準ヲ示ス考デ居リマス、ソレデハ決ツタモノニ付テハドウスルカト云フ御話デアリマスガ、決ツタモノハ割當デゴザイマスカラ強制ハ致シマセヌケレドモ、是ハ是非實行シテ戴キタイ、ソレヲ實行セヌ者ハドウスルカ、斯ウ云フコトニナリマス、例ヘバ區ナラ區ニアリマス運營委員會デ適當ナ制裁方法ヲ加ヘル、ソレニハドウ云フ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フト、ドウモ制裁ナドト云フコトハ實ハシニクイノデゴザイマスガ、マア色々其ノ土地ニ於テ工夫モ出來ヨウカト思ヒマス、左様ナコトヲヤツテ、又一方デハ職域デモ貯蓄ヲシテ居リ、又地域デモ貯蓄ヲシテ居ルノデ、到底自分ノ收入デヤツテ行ケナイト云フ方ハ此ノ運營委員會ニ實情ヲ御話下サイマシテ御相談ヲ願ヘレバ運營委員

會デ適當ニ取捨スルト云フコトニ致シタイ、斯様ナ譯デ此ノ運營委員會ノ是カラ實情ニ即シタ大キナ働キヲ期待致シテ居ル次第デアリマス

○子爵松平親義君 只今ノ御說明ハ分リマシタガ、今ノ御話デ、割當基準ト云フモノガ出來レバ大體ソレニ依ツテ割當ヤツテ行ク、是非非常ニ結構ト思ヒマス、併シ現在東京都アタリデハドウカト申シマス、實際割當ニ色々不都合ガアル爲ニ悶著ヲ起シテ居ル所ガアルト思ヒマス、併シ又斯ウ云フ風ニ割當ヲ當局カラ示サレナイデモウマク行ツテ居ル所モ澤山アル、マア都民トシテ先ヅ大體公平ナ割當ヲ御互ニ決メマシテ、ソレニ依ツテ消化ヲシテ居ルト云フヤウナ所モ澤山アルノデアリマス、ソコデ只今モ御話ヲ伺ツタノデアリマスガ、基準ガ出來タカラト云ツテ無理ニ此ノ基準デ押付ケルト云フコトハ、從來摩擦モナク大體ウマク行ツテ居ツタヤウナ所ガ、此ノ基準ガ出來タ爲ニ又却テ摩擦ヲ起シ不公平デアルト云フヤウナ聲ガ起ルト云フヤウナ例モ澤山アルト思ヒマス、ソコデ此ノ基準ガ出來タカラト云ツテ、ソレヲ無理ニ押付ケルト云フコトハ是ハ氣ヲ付ケナケレバナラヌコトデハナイカト思ヒマス、矢張り何處迄モ實情ニ即シテ、適宜ニ其ノ場合其ノ場合ニ應ジテ適當ニヤルト云フコトノ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、サウ云フ風ニシナイト却テ大藏當局ガ御考ニナツタコトガ逆ナ結果ヲ生ズルヤウナコトデモ起リハシナイカト心配スルノデアリマスガ、此ノ點ヲ一應質問方ヲ申上ゲル次第デアリマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 誠ニ御說ノ通りデアリマシテ、一應ハ基準ト云フコトヲ申シマシタガ、運營方法ハ左様ナコトデ取計ヲツテ參リタイト思ヒマス、尙只今ノ松平子爵ノ御示ノ點ハ能ク行ツテ居ルト思フノデアリマス、大體此ノ基準ハ複合基準ト云ヒマスガ、基準ト云フ言葉ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、色々ナコトニ基イテ或部分ハ大體能ク行ツテ居ルヤウデアリマス、併シ單純ニ都民稅トカ租稅トカサウ云フヤウナコトデ行ツテ居ルモノハ私共ガ見受ケマシテモ今迄比較的ウマク行カヌ所ガアリマスノデ、此ノ點ニ付テハ只今ノ御意向ヲ體シマシテ其ノ運營ニ遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス

○子爵大戸功男君 今ノ松平委員ノ御質問ニ關聯シテ何ノデスガ、昨年ノ十二月頃ノ割當ヲ拜見致シマス、是ハ私ノ知ツテ居ル者カラ聞イタノデスケレドモ、十二月ノ割當ニ付テハ非常ニ色々ナ問題ガ起ツタノデアリマス、ソレハ國民學校ノ先生デゴザイマスガ、此ノ割當ハ國ニ對スル義務トシテ致サナケレバナラヌト云フノデスガ、國民學校ノ先生アタリガ賞與トカ何トカト云フモノガ十二月ニハ非常ニ遅イノデ困ツタ、ソコデ町會長カ何カハサア出セ／＼ト云ツテ二十五日カ二十七日頃デナイト賞與カ何カハ出ナイ、ソレデ國民學校ノ先生ガ非常ニ困ツタ事實ガアルノデス、ア、云フ年ノ一番シマヒアタリハ皆榮シミニシテ居ルノデスカラ、ア、云フ時ニハ豫メ割當ノ額ヲ御示ヲ願ツタ方ガ宜イト思フ、昨年アタリノヤウニ段々割當ノ額ガ多クナツテ來マス、一番困ツタハ國民學校ノ先生デス、ソレデ國民學校ノ先生ハ仕方ガナイカラ他カラ金ヲ借りテサウシテヤツテ居ラレル、斯ウ云フモノハ政府ノ方デモウ少シ早く來月ハ此ノ

位ニナリサウダツ云フ内示見タイナモ
ノヲ示シテ載キタイ、尤モ今度ハ運
委員會ガ出來マスカラ其ノ點ハ緩和サ
レルト思ヒマスアレドモ、却テアレガ
爲ニ變ナ結果ヲ來スト思フ、ソレデ色
色ナ方法ヲアリマスアレドモ、其ノ方
法ニ何トシテモ手ガ出ナイ、ドウシテ
モ準備ト云フモノガ要ルト思フシ、現
金ヲ遊バシテ居ル方ハ非常ニ少イノデ
スカラ、此ノ點ハ餘程御考慮ニナラヌ
ト却テ變ナ摩癢ヲ生ズル虞ガアリマス
カラ、此ノ點ハ一ツ此ノ運籌委員會ノ
方デ成ルベク注意シテヤツテ載キタイ
ト云フコトヲ希望申上ゲテ置キマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 只今ノ
宋戸子爵ノ御注意ノ點ハ十分了承致シ
マシタ、尙實ハ是ハ他ノ問題ニナリ
ガテ置キマス、所謂定額貯金デス、郵
便局ノ定額貯金、是ハ非常ニ大キナ額
ガ參リマシテ、實ハ方々デモ色々ノ意
見ガ出タ譯デアリマス、此ノ點ニ付キ
マシテハ當局ノ方カラモ既ニ指示ヲ致
シマシテ、貯蓄當局以外ニハ一切割當
ヲシテハイカヌト云フコトニ相成ツテ
居リマス、此ノ郵便局ノ定額貯金ハ、
アレハモウ昨年ハ非常ニ問題ヲ起シマ
シタガ、アレハ割當テルト云フコトデ
ナクシテ、比較の有利ダカラ獎メ、
或ハ貯蓄ノ事ニ携ハル大藏當局トシテ
ハアレガ長期ノ預金ニ變リマスコトハ
甚ダ望マシイコトデアリマスアレドモ、
併シアレヲ割當テルト云フコトハ非常
ナ弊害ガゴザイマスノデ、此ノ點ハ十
分ニ注意ヲ致シテ居リマスカラ、只今
ノ仰セノ點モゴザイマシタガ、今後ハ
成ルベクサウ云フヤウナコトハナイト
信ジテ居ル次第デゴザイマス

○侯爵西郷吉之助君 第十條ノ十三ノ
國民貯蓄運籌委員會ハ、東京都ニ於キ
マシテハ各區ニ別々ニ置ク譯デスカ、
○政府委員(小笠原三九郎君) 仰セノ
通りノ考デゴザイマス

○侯爵西郷吉之助君 今ノ御答デ分リ
マシタガ、是ハ結構ナコトデアリマス
ルガ、併シ此ノ運籌委員會ノ「メンバ
ナルモノハ餘程御考慮ニナツテナサラ
ト、末端ノ役員ノミデ構成ナサルルヤ
ウナコトニナリマス、ドウモ現在ハ
末端ノ役員、例ヘバ區長ナドノ物ノ分
ツテ居ル人ナラ結構デスガ、唯矢鱈ニ
權力ヲ振廻サレテ、國民ニ無理ナコト
ヲ押付ケルコトノナイヤウニ、此ノ運
籌委員會ノ構成ニ付キマシテハ十分御
注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小笠原三九郎君) 其ノ點
ハ仰セノヤウニ考ヘテ居リマス、實ハ
關係官廳ノ方デモ各種ノ團體、例ヘバ
隣組長ト云フヤウナモノモ考ヘテ居リ
マス、ソレカラ貯蓄機關ノ方ノ例ヘバ
銀行、信用組合ナドモ考ヘテ居リマス
シ、又貯蓄ノ代表者モ入レルト云フコ
トモ考ヘテ居リマスシ、尙貯蓄ノ學識
經驗者ノ御方モ御入レ致シマシテ、御
懸念ノナイヤウニ是非處置致シタイト
考ヘテ居ル次第デアリマス

○青木一男君 サツキ御質問ガアリマ
シタガ、所謂新興所得階級ニ屬スル資
金ノ吸收ノ問題、政府委員ノ御答辯
デ、稅法ノ運用ニ付テモ力ヲ其ノ方面
ニ用ヒラレテ居ルト云フコトデ誠ニ結
構ナコトデアルト思フノデスガ、今日
貯蓄ニ致シマシテモ、稅務署ニ申告サ
レルヤウナ所得ノ分ニ付テハ、政府委
員御説明ノ通り相當キツイ處迄來テ居
ルノデアリマシテ、今日サウ云フ稅務
署ニ申告サレナイヤウナ所得、中ニハ
國家ノ統制法規ノ裏ヲ潛ツテ營マレル

營利行爲、其ノ他ニ依ツテ相當ノ所
得ガ一部階級ニ擧ゲラレテ居ルト云フ
コトハ殆ド公知ノ事實デアリマシテ、
是等ガ財政負擔ニ應ジタイト云フ點
カラ見、或ハ之ヲ現金デ持ツテ居ツ
テ、無暗ニ物ヲ買ヒ漁リ、其ノ他國家
ノ其ノ方面ノ物價政策等ニモ非常ナ
害惡ヲ與ヘル、實ニ國家經濟ノ一ツノ
痛デアラウト思フノデアリマス、是ハ
他ノ法制ノ運用ニ依ツテ十分取締ルト
云フコトハ勿論先決問題デアリマス
レドモ、同時ニ資金ノ吸收ト云フコト
ヲ少クモ此ノ方面ニ力ヲ入レテヤラ
ルト云フコトガ最モ望マシイ、又公平
ノ觀念カラ言フツテモ隣組等ニ於テ非常
ニ金廻リノ良イ連中ガ殆ド負擔ヲセズ
ニ、定額ノ俸給者等ガ過重ノ負擔ニギ
ユウギユウ喘イデ居ルト云フコトハ、矢
張り此ノ戰時下ニ於テ國民ノ感情ノ上
ニ於テ、非常ニ面白カラザル事態ヲ生
ジツ、アリマスルノデ、是非非常ニ技術
的ニムツカシイ問題デアリマスアレド
モ、國家トシテハ其ノ方面ノ財源、資
金ノ在リ場所ノ捕捉ト云フコトニ十分
力ヲ入レナケレバナラヌト思フノデア
リマス、此ノ委員會等ヲ作ラレマシタ
意味モ、サウ云フコトガ狙ヒデアルト
思ヒマスガ、ナカクハ是ハ人ノ勝手手
ノコトデアリマスルカラ、隣デモ口ガ
出シニクイ場合モアルダラウト思ハレ
ルノデ、是ハ餘程政府トシテモ力ヲ入
レ組織ヲ考ヘ、全力ヲ盡シテ此ノ方面
ノ資金ノ吸收ト云フコトニ、所謂機動
的ナ行政運籌ヲサレナケレバナラヌノ
デヤナイカ、國民ノ協力モ固ヨリ必要
デアリマスガ、是ハムツカシイアレド
モ、政府トシテハ有ラユル努力工夫ヲ
用ヒナケレバナラヌノデアラウト思ヒ
マス、之ニ付テ貯蓄方面ノ當局ガ、何

カ具體的ナ新シイ御案デモアルナラ
バ、概略御示ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(小笠原三九郎君) 青木委
員ノ仰セノ點ハ誠ニ御尤モデゴザイマ
シテ、大藏當局ト致シマシテモ有ラユ
ル努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス
ルガ、尙十分ノ點ガアルノヲ遺憾ト致
シテ居ル次第デアリマス、此ノ所謂新
興所得階級ト云フコトニ付キマシテ、
割當貯蓄等カラ見マシタ行キ方ハ只今
申上ゲマシタヤウニ、其ノ運籌委員會
等ノ働キニ依ツテ、又見立割等ヲ加
味スルコトニ依ツテ、サウ云フコトヲ
出來ルダケ致シタイト考ヘテ居リマス
ルガ、實ハ斯ウ云フ貯蓄ハドチラカト
申スト隣組デアリマシテ、秘密性ヲ持
タヌ關係上ドウカスルト云フト、避ケ
ラレルト云フ關係モアリマスカラ、其處
例ヘバ銀行等ガ或場合ニハ出張シテ行
クト云フヤウナコトデ、銀行ハ預金ノ
秘密性ガ比較的保タレマスカラサウ
云フ方法ヲ採ツタリ、或ハ例ヘバ東京
附近ノ所謂野菜類ヲ關テ賣ルト云フヤ
ウナ方面ニハ通信當局トモ連絡ヲ取ツ
テ、郵便局ニ非常ニ金ガ集ツテ參ル、
是ハ秘密性ガアル爲メト思ヒマス、尙
ソレカラ、銀行等ニ付キマシテモ過日
コチラデ御意見ヲ御示シ下サツタヤウ
ニ、銀行ノ店舗ノ重複シテ居ル分ヲ出
來ルダケ少クシテ居ルノデアリマスガ、
サウ云フコトニ付テハ簡易ナル店舗ヲ
設ケルコトヲ積極的ニ許シテ居ルノデ
アリマス、サウ致シマシテ是等ノ資金
ノ回收ニ努メテ居ルノデゴザイマス
ガ、尙非常ニ足ラザル點ガ澤山アルト
思ヒマス、尙同ノ富饒ノ如キモノモ
主トシテ祖ヒハサウ云フ點ニアルノデ
アリマシテ、所謂富饒ニ付テモ、ヨク
モツト澤山ヤレト云フ御話ガアリマス

ガ、是ハ能ク大臣ノ答辯致シマシタヤ
ウニ、色々資金ノ性質ガゴザイマシテ、
日本人ハ貯蓄ヲスルト云フヤウナ本當
ノ貯蓄ノ意味ノ資金ハ割合成績ガ好イ
ノデアリマス、例ヘバ割當定期預金ノ
第一回ハ十五億圓ヲ突破、第二回ハ二
十億圓ヲ突破スルト云フヤウニ又福券
ノ如キモノ、第二回ハ一億圓ハ千七百
萬圓賣レ殘ツタ、斯ウ云フ一カ八カト
云フヤウナ金ノ方面ハ比較的日本ノ
氣分ニ副ハナイヤウニ考ヘルノデアリ
マス、併シナガラ丁度サウ云ツタ部門
ノ所ニ今金ガアリマスノデ、出來ルダ
ケ之ヲ回收シテ、少クモ浮動購買力
ノ吸收ヲ期シタイ、斯様ナ考ヘ方カラ
富饒ヲモ決行スルト云フコトニシタヤ
ウナ次第デアリマス、尙又出來ルダケ
大藏省ノ方面デモ工夫致シマスアレド
モ、御氣付ノ點ガゴザイマシテ、斯
ウ云フ風ニヤレバ宜イト云フコトガア
リマシタナラバ御示ヲ願フト大變仕合
セト思フ次第デアリマス

○青木一男君 大體御趣意ノアル所ハ
分リマシタ、富饒ノ發賣ノ意ノアル所
モ御説明デ分リマシタアレドモ、私ハ
ア、云フ射倖心ヲ主トシタ債券ノ如キ
モノガ實行ガ好クナイト云フコトハ、
日本ノ國民性ノ健全ヲ證明スルモノト
シテ喜ブベキ現象ダト思ヒマス、斯ウ
云フ際カラア、云フ手ヲ打ツテ少シ
デモ資金ヲ吸收シヨウト云フ所ニ今度
ノ立法ノ趣旨ガアルト思ヒマスガ、矢
張り今御話ノ如ク、他ノ方法デナカク
金ガ集ラナイ、サウ云フヤウナ特殊ノ
射倖心ノ利用ニ依ツテ、漏レタ所ヲ補
フト云フ意味ニ御考ニナツテ居ルコト
ハ私ハ適當ト思ヒマス、從ツテ此ノ發
賣ノ方法ニ付キマシテモ、今ノヤウナ

趣旨ヲ織込シテ運用シテ戴キタイト私ハ思ヒマス、ソレカラ序ニ一ツ伺ツテ置キタイコトハ、今ノ第七條ノ三「日本勸業銀行法第三十一條ノ四但書ノ規定ハ之ヲ適用セス」ト云フ立法ノ仕方ハ削除トハ違フデゴザイマスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 實ハ此ノ法律ハ臨時立法ニナツテ居リマス關係上、法律ノアル間適用シナイ、斯ウ云フコトデ削除致シマスト云フト、ソレガ全部何時デモ此ノ儘削除サレルノデスカラ、其ノ點デ此ノ臨時立法ノ間ダケ適用シナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松本泰治君 富藏ニ付キマシテ私ハ何モ運用ニ付テハ述べヌ積リデ居ツタノデアリマス、私ハ此ノ富藏ヲ今度認メルコトハ、成程今迄ハ割増金ト云フヤウナコトデ實ニ於テ或程度迄スツタノデアリマス、併シ今度純然タル富藏ヲ認メテ行クト云フコトハ相當重大ナコト思ヒマス、殊ニ日本デハ外ノ國トハ餘程遠ツテ居リマシテ、刑法デ非常ニ嚴重ナ罰ヲシテ居ツタノデアリマス、ソレヲ解イテ……少クトモ此ノ範圍ニ於テハソレヲ解イテ、サウシテ富藏ヲアルト云フコトニナツタ、ソレガ宜イカ悪イカ、色々御議論ハアラウシ又道義のニ申シテハ惡イト云フ説モアリマセウ、私ハ實ハ斯ウ云フ際デアルカラ賛成ヲシテ居ル、今モ青木委員カラ御話ガアツタヤウニ、新興階級ニ非常ニ金ガ行ツテ居リマシテ、吸収スルコトハ非常ニ必要デアルガ、併シ適當ナ方策ガナカノ「ナイト」云フ場合ニ於テハ、有ラユル手段ヲ盡シテ之ヲ吸收シナケレバナラヌ、其ノ一ツトシテハマア適當ノモノデナイ、道義のニ申シテハ宜イトハ言ヘヌノデセウ、

併シ論語等ニモ既ニ君子ハ義ニ聰ク、小人ハ利ニ聰イト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマスガ、世ノ中ニハ小人ノ方ガ多イ、殊ニ斯ウ云フ新興階級等ノ中ニハ君子ハ甚ダ少イト思ヒマス、斯ウ云フ連中カラオ金ヲ取リマス方法トシテハ已ムヲ得ナイ、私ハ是非ハヤツテ戴キタイト云フ意味デ賛成ヲシテ居リマスガ、唯私ノ考デハ苟クモ此ノ重大ナル今迄ノ罰則ヲ解イテヤル以上ハ、相當力ヲ入レテヤラシメテ宜イデヤナイカ、ドウモ大藏大臣ノ考ヘテ居ラレル御計畫ハ小サ過ギルヤウニ思フ、何十億ト云フ金ガ新興階級ノ手ニ入ツテ居ル、ソレヲ吸收スル一ツノ手段ニ過ギヌノハ、相當力ヲ入レテ大キナ金ヲ一ツツ吸收シテ戴キタイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル、此ノコトハ或機會ニ當局ノ御方ニ申上ゲタコトモアリマス、ソコデ此ノ間大藏大臣ノ御計畫ト云フモノヲドツカデ御話ニナツタノヲ新聞等デ讀ミマシタガ、ドウモ如何ニモ小サイ、客クサイコトデ、何ダカ斯ウ云フ惡イコトヲスルノデアルカラ少シヤル、河豚ハ食ヒタシ命ハ惜シシト云フヤウナコトデ、チヨットヤツテ見ヨウト云フヤウナ心持ガ底ニ潜シデ居ルノデハナイカト思フヤウナ小サイ御計畫ノヤウニ思フ、年ニ何回トカ書イテアリマシタガ、私ハ少クトモ隔月一回位ヤラレテモ一向差支ナイ、又事務上モ出來ルノデハナイカ、「ヨローッパ」ヤ何カノ例ヲ見テモ、毎月ヤツテ居ルノガ大方アリマシテ、成ルベク是ハ頻繁ニヤル方ガ宜イト思フ、短ク頻繁ニヤツテ、買フ、當ル、又ヤルト云フヤウニ短クヤツタ方ガ私ハ宜イト思フ、當リ鏡等モ少シ金額ヲ大キクシテオヤリニナツタラドウカ、サ

ウ云フ考ニ對シテノ反對ト申スカ何ト申スカ、ドウモ日本人ハ射幸心ガ少イトカ色々仰シヤイマス、大變結構ナコトカモ知レマセヌガ、從來富藏ハ刑法デ非常ニ嚴重ノ課シテ禁ジテ居ツタノデスカラ、斯ウ云フ味ハヒハ能ク知ラナイカラ、ヤラナカツタノハ當然ダ、賭博ノ如キモ外國デハ御承知ノヤウニ營業的ノモノヲ設ケテヤルコトニ付テハ、相當制限ノアル國ガ多ウゴザイマス、私人相互ノ間ニ於テヤルコトハ一向差支ナイノデ、何處ノ國デモヤツテ居ルト云フヤウナ狀態デ、日本デハ非常ニ之ヲ嚴重ニ制限シテ居リマス、是ハ果シテ日本人ノ射幸心ガ少イカラデアルカドウカ、寧ロサウ云フ弊害ガアルコトデアルカラ、之ヲ抑ヘテ居ルノデハナカラウカトサヘ私ハ思フ、ソコデドウモ日本人デハ非常ニ道義心ガアツテ、斯ウ云フモノヲヤツテモナカナカ喰ヒ付イテ來ナイト云フヤウナ考ヘ方ハドウデアラウカ、私ハソレヲ疑フ、而シテ屢言ハレルコトハ福券、福券ハドウモイカヌ、賣レ残リガアルト只今モ仰シヤツタガ、是ハ當リ前ダト思フノデ、ア、云フ不徹底ナコトデハ困ツタモノダト思フ、十圓デ買フノハ宜シウゴザイマス、當レバ宜イガ、當ラナイデ、二十年間据置ク、アノ札ハ實ニ困ツタ札ダト思フ、ドウモモナラヌ札ダト思フ、所謂棄テルニハ惜シイシ、藏ツテ置クニハ不便ダシ、是カラ二十年生キテ居ラウトモ思ハナイ、(笑聲) 甚ダ困ツタモノデス、アア云フ喰ヒ付キニタイモノヲ出サレテ成績ガ惡カツタカラ、今度モ成績ガ惡カラウト云フ理由ニ御述ニナツテ居ルノハドウカト思フ、私ハサウハ認メマセヌ、是等ハ觀方ノ違ヒデスカラ、

實ハ御質問ハシナイ積リデ、唯刑法上ノコトダケ伺ツタノデスガ、ドウモ其ノ點ニ付テハ相當實行ノ時ニ御考ヲ願ヒタイ、苟クモ此ノ重大ナル刑法ノ罰則ヲ蹴散ラカシテ、斯ウ云フ途ヲ拓カレ以上、是ハ國家ノ生存上已ムヲ得ナイ、資金吸收ノ爲異常ニ多クナリマシタ購買力ヲ吸收スルコト云フ爲ニ、「インフレーション」ヲ避ケル爲ニ、國家ガ已ムヲ得ズヤルト云フコトニナツテ、斯ウ云フコトヲオヤリニナル以上相當ノ效果ヲ擧ゲタイ、少シバカリノコトデ、斯ウ云フ重大ナル制限ヲ解クト云フコトハ、甚ダ口惜シイヤウニ私ハ考ヘル、オヤリニナル以上ハ相當ニ力ヲ入レテヤツテ戴キタイト云フコトヲ考テ居リマスガ、是ハ申上ゲル積リハナカツタノデス、チヨット話ガサウ云フコトニ及ンダヤウデアリマスカラ、別ニ御答辯ヲ戴カウトハ思ヒマセヌ、唯意見ヲ開陳致シマス

○政府委員(小笠原三九郎君) チヨット御答辯申上ゲルノデナク、御參考迄ニ申上ゲサシテ戴キマス、大體アレヤ歳入ニ見積ラナケレバナラヌモノデゴザイマスカラ、ソコデ歳入豫算ヲ立テルノニドレ位カト云フコトニ付キマシテ、隨分大藏省トシテハ工夫シタケレドモ、ドウモ福券ノ賣レ行等カラ見テ、餘リ一度ニ何億ト云フモノハ賣レナイダラウ、ソレカラ又毎月々々ヤルト云フコトモ實際上下ウカト思ハレルヤウナコトモゴザイマシテ、マア年ニ四回、一億五千萬圓位ナラ行ケルダラウ、サウシテ國ノ歳入豫算ヲ立テヨウト云フヤウナコトデア、云フ風ニ致シタノデゴザイマスケレドモ、御示ノ通り斯ウ云フ重大ナ立法ヲ爲ス以上、又

斯ウ云フ途ヲ拓イテ、所謂新興階層等ノ購買力吸收ニ努メマスル以上、幸ニ成績ガ擧ツテ參リマスレバ……又是ハ成績ヲ擧ゲルヤウニ私共有ラユル努力ヲ致サナケレバナリマセヌガ、サウ致シマシタナラバ御趣旨ノヤウニ進ンデ參リタイト存ジテ居リマス、尙先般モ出マシタガ、大體ドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト云フ仰セデゴザイマスルト、金額ハ一億五千萬圓ヅツ四回六億、其ノ中三億ヲ國ノ所得ニ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ券面八十圓位ノモノヲ出シタイ、斯ニ考ヘテ居リマス、當選金ノ一番多イノハ差向キ十萬圓位ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙成ルベク二等以下、金額ハ少クトモ宜イカラ當リ籤ノ多イヤウニ、百圓位ノ當リ籤ガ多イヤウニスルノガ宜イデヤナイカト云フヤウナ御話モゴザイマシテ、左様ナ風ニモ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ名前ハ何ト附ケルカ、色々工夫シテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ間大臣ガチヨット他所デ言ハレタヤウニ、今ノ所ハ勝利ト云フノガ縁起モ宜クハナイカト云フヤウナコトデ、勝利ト云フ名前ガ考ヘラレテ居ル次第デゴザイマス、戰爭ニ勝ツ爲ニヤルノダカラ、勝利ガ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ渡シ金ハドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、少額ナ部分、百圓トカ、ソシナモノハ無論全部現金デアリマスケレドモ、十萬圓ノ一等ノ分ニ付キマシテハ一部現金、大部分公債、其ノ公債ヲ七割ニスルカ六割ニスルカ八割ニスルカ、斯ウ云フコトハ公債ガ多イト幾ラカ妙味ガ薄イヤウニ考ヘラレル點モアリマスノデ決メテ居リマセヌガ、左様

ナコトハ此ノ委員會ガ出來マスルノ
デ、ソレニ總テ御相談申上ゲテ決定致
シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス
ガ、只今一應考ヘテ居リマスコトダケ
ヲ御參考ノ爲申上ゲテ置ク次第デゴザ
イマス

○古庭健次郎君 今ノ御話ノ百圓位ノ
ヲ多クヤラレルト云フコトハ、却テ購
買力ヲ多クスルヤウナ結果ニナリハシ
マセヌカ、寧ロ大キイ金額ヲ少クオヤ
リニナルヤウナ風ニシタラ如何カト思
ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(小笠原三九郎君) ソレハ
サウ云フ説ガ出テ居ルト云フコトヲ申
上ゲタダケデ、マダ左様ニ決メテ居ル
譯デハアリマセヌガ、實ハ購買力吸收
ノ點カラ申シマス、當ル方ハドチラ
カト云フト少イノデアリマスカラ、賣
レルト云フコトニ依ツテ購買力吸收ニ
役立ツヤウニ考ヘラレマス、御示ノ點
ハ能ク研究致スコトニシマス

○松本泰治君 今ノ點ハ私ハ小サイモ
ノヲ澤山出サレコトハ費用倒レデ詰
ラヌト思フ、一體富貴ヲ買フ人間ノ心
理狀態ハドウデアルカ、私ハ餘リ買ツ
タコトハナイノデ存ジマセヌガ、當ル
積リデ買フ、是ハ殆ド當ラナイガ、仕
方ガナイカラ買ツテ置ケト云フ考デ買
フ者ハナイ、當ル積リデ買フ、當ルノ
ハ何萬人カ何十萬人カ知ラヌガ、其ノ
中ノ一人シカ當ラヌ、爆彈ハ當ラナイ
積リデ皆居ルガ、富貴ノ方ハ當ル積リ
デ買ツテ居ル、買ツテ富貴スル迄ノ
間、ソレヲ樂シミニシテ、當ツタラド
ウシヨウスワシヨウト云フヤウナコト
ヲ樂シミニスル、是ハ必ズシモ百圓ナ
ド多クシナイデモ、ソレダケデ十分ナ
「アトラクション」ト申シマスカ、アル
ノデ、私ハ餘リ小サイモノヲ澤山オホ

ヘニナルヨリハ、寧ロナイ方ガ宜クハ
ナイカ、大キイモノハモツト大キクシ
テ、相當大キナモノヲクツ付ケル方ガ
宜イノデハナイカト考ヘマス

○河田烈君 私運刻シテ參リマシタノ
デ、若シ私ノ御尋ガ重複シテ居リマシ
タラ御教示ヲ願ヒマス、深ク考ヘタノ
デハナイデスカ、富貴ノ當リ金額ノ話
ガ出マシタカラ、少シ突飛デアリマス
ガ、副賞ニ物ヲ附ケラレタラ如何デス
カ、物ヲ附ケルト非常ナ「アトラクシ
ン」ニナルト思ヒマスガ……

○政府委員(小笠原三九郎君) 大藏省
ノ立場トシテハ物ニ對シテハ實ハ考ヘ
テ居リマセヌ

○河田烈君 一應考究ノ餘地ガアルナ
ラバ、酒ト云フヤウナモノヲ附ケルト
勞働者アタリハ大變ニ悅ンデ買フ、一
萬圓ヨリハ飛ビ附クト思ヒマスガ……

○政府委員(小笠原三九郎君) 何カ聞
ク所ニ依リマス、朝鮮デハサウ云フ
考ガアルサウデアリマスガ、率直ニ私
ハ申上ゲマスガ、大藏省ガ金ヨリ物ヲ
附ケルト云フ考ヘ方ニシタト云フコト
ハ如何カト考ヘマスノデ、此ノ點ハ聊
カ躊躇シテ居ル所デアリマス

○侯爵西郷吉之助君 南方地方デ富貴
ヲ賣ツタ經驗ガアルノデスカ、南方ノ
原住民ヲ對象トシテ第一四三十萬圓、
一等ノ金額ガ五萬圓ダツタと思ヒマス
ガ、二十分位デ賣リ盡シテシマツタヤ
ウナ狀況デアリマシタ、原住民ト内地
ノ人々ハ違フノデアリマスカラ、今ノ
當リ金額ノ一等ガ十萬圓ト云フノハ、
甚ダ貧弱ノヤウナ氣ガ致シマス、南方
ノ占領地ノ原住民デスラ五萬圓位當リ
金額デアル、ソレモ一瞬ニシテ賣リ盡
シ、二回目ニハソレヨリ多額ノモノヲ
出セト云フ希望サヘアツタ、内地デー

等十萬圓ト云フノハ極メテ貧弱過ギル
ト思ヒマス、少クトモ五十萬圓位ハ必
要デハナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(小笠原三九郎君) 能ク分
リマシタ、委員會デ能ク相談ヲ致シマ
シテ……

○中島德太郎君 只今勝札ト云フ名ヲ
附ケルト云フ御話デアリマシタガ、モ
ウ少シ良イ名ハナイモノデスカ、成ル
程富貴デ當ツタ人ハ勝札デアリマセウ
ガ、大多數ノ人ハ何モ當ラヌト云フコ
トニナルノデアリマスカラ、勝札ヲ買
ツタガ只ニナツテシマツタ、非常ニ厭
ナ氣分ヲ與ヘヤシナイカト思ヒマス、
イツソ英米擊碎ト云フコトヲ加味シタ
名前ヲオ附ケニナツテ、英米ヲ擊滅ス
ル爲ニ出タモノデアルト云フヤウニ考
ヘマセヌト、勝札ヲ買ツタガ當ラヌデ
負ケテシマツタト云フ、非常ナ心理的
ニ變ナ影響ヲ與ヘヤシナイカト思ヒマ
ス、勝札ト云フ名ニ付テハ、何カモウ
少シ御考ノ餘地ハアリマセヌカ

○政府委員(小笠原三九郎君) 實ハ先
程御説明申上ゲタ意味モ、勝札ト云フ
中ニハ大東亞戰爭ニ勝ツ、勝ツ爲ニ買
フト云フ意味ヲチヨツト言ツタノデス
ガ、前後致シマシタノデ、サウ云フ風
ニ御取ニナツタケレドモ、是ハ大東亞
戰爭ノ爲ニ勝ツ、勝ツ爲ノ札ト云フノ
デ勝札ト云フノデ、又同時ニ是ガ自分
ガ富貴、勝ち負けト云フヤウナコトニ
モ關シテ居ツタノデスカ、尙一ツ考ヘ
ルコトニ致シマス

○中島德太郎君 御答デ結構デスカ、
實際ハ當ラヌト云フノガ大多數デスカ
ラ、當ラヌ者ハ、勝札ハ買ツタケレド
モ何ニモナラナカツタト云フコトヲ私
チヨツト思ヒマシタノカラ、御參考迄
ニ申上ゲマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 資金吸收特
別方策委員會、此處デ只今ノヤウナ詳
細ノ手續ニ付テ更ニ審議サレル譯ナ
デスカ、假ニ金額六億圓ト云フコト
モ、第一回ノ實行如何ニ依ツテハ増額
スルト云フヤウナコトモ考ヘルノデア
リマスカ、又其ノ方法モ今凡ソ考ヘテ
居ラレルヤウナ方法ガ必ズシモ適切デ
ナイ、賣出方法其ノ他ニ付テモツト改
善スベキ方法ガアルト思ヒマス、第二
回以降更ニ百尺竿頭一步ヲ進メル底ノ
御考ガゴザイマスカ、其ノ點ヲ一ツ
……

○政府委員(小笠原三九郎君) 委員長
ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ一ツ資金吸
收特別方策委員會ニ相談スルコトニ致
シテ居リマスガ、此ノ第一回ノ節ニ決
リマシタモノデ第一回ハ賣出シマシ
テ、其ノ模様ニ依リマシテハ更ニ方法
モ變ヘ、又之ヲ積極的ニ持ツテ行クト
云フコトモ考ヘ、モツトヨク賣ル考ヘ
方デ資金ノ吸收ヲシヨウトスル、購買
力ヲ吸收シヨウトスル、最も效果的ノ
コトヲ狙ツテ、ソレニ添フヤウニ持ツ
テ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、從ヒマシテ先刻六億圓ト申シマシ
タノハ一應ノ目安デアリマス、此ノ程
度ハ出來ルト云フノデ豫算化シタモノ
デゴザイマスガ、尙實行等ニ依リマシ
テ、モツト積極的ニ進ンデヤリタイト
云フ風ニモ考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス、ソレカラ賣出方法ハ大體只今ノ所
ハ日本勸業銀行若クハ勸業銀行ノ息ノ
掛ツタ團體ト云フヤウナモノヲ考ヘテ
居ルノデアリマスガ、勸業銀行ガ今迄
ノヤウナ貯蓄債務トカ或ハ福券ヲ賣ツ
タヤウナ方デハ少シ物足ラヌノデ
ハナイカ、富貴ノ性質上少シ變ツタヤ
リ方ヲシナケレバナラヌデハナイカト

○政府委員(小笠原三九郎君) 委員長
ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ一ツ資金吸
收特別方策委員會ニ相談スルコトニ致
シテ居リマスガ、此ノ第一回ノ節ニ決
リマシタモノデ第一回ハ賣出シマシ
テ、其ノ模様ニ依リマシテハ更ニ方法
モ變ヘ、又之ヲ積極的ニ持ツテ行クト
云フコトモ考ヘ、モツトヨク賣ル考ヘ
方デ資金ノ吸收ヲシヨウトスル、購買
力ヲ吸收シヨウトスル、最も效果的ノ
コトヲ狙ツテ、ソレニ添フヤウニ持ツ
テ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、從ヒマシテ先刻六億圓ト申シマシ
タノハ一應ノ目安デアリマス、此ノ程
度ハ出來ルト云フノデ豫算化シタモノ
デゴザイマスガ、尙實行等ニ依リマシ
テ、モツト積極的ニ進ンデヤリタイト
云フ風ニモ考ヘテ居ル次第デゴザイマ
ス、ソレカラ賣出方法ハ大體只今ノ所
ハ日本勸業銀行若クハ勸業銀行ノ息ノ
掛ツタ團體ト云フヤウナモノヲ考ヘテ
居ルノデアリマスガ、勸業銀行ガ今迄
ノヤウナ貯蓄債務トカ或ハ福券ヲ賣ツ
タヤウナ方デハ少シ物足ラヌノデ
ハナイカ、富貴ノ性質上少シ變ツタヤ
リ方ヲシナケレバナラヌデハナイカト

○政府委員(小笠原三九郎君) 戰時金
融金庫法中改正法律案ハ極メテ簡單デ
ゴザイマシテ、戰時金融債券ノ發行限
度デアリマス拂込資本金額ノ十倍ヲ、
拂込資本金額ノ三十倍ニ改メルト云フ
コトデアリマス、戰時金融金庫ノ資本
金ハ御承知ノ如ク三億圓デゴザイマス
ノデ、現在デハ三十億圓ダケノ發行限
度ヲ持ツテ居ル譯デアリマスガ、最近
戰時金融金庫ノ餘力ガ殆ドナクナツテ
參リマシタコトト、ソレカラ將來要リ
マス色々ナ事ヲ考ヘテ見マス、ドウ
シテモ三十倍即チ九十億圓程度ニ擴張
スル必要ガアリマス所カラ本案ヲ提出
シタ次第デゴザイマス、尙御參考迄ニ
申上ゲマス、現在ノ貸付額ハ二十二
億九千餘萬圓、有價證券所有額ガ八億
三千餘萬圓ト云フコトニナツテ居リマ

云フ風ニモ考ヘテ居リマスノデ、是等
ノ點ニ付テハ能ク委員會ニ諮リマシ
テ諸事取決メタイト、左様ニ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○古庭健次郎君 第一回ノ賣出ハイッ
頃ニナリマスガ

○政府委員(小笠原三九郎君) 準備等
ノ都合モゴザイマスノデ、マア福券ヲ
三月位ニ賣出シマシテ、ソレヲ福券ノ
最後ニシマシテ、後四月カ五月頃ニヤ
リタイト斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザ
イマス、尤モ色々準備ノ都合モアリマ
スノデ、ドウモ或ハ六月ニ掛カルカト
云フヤウニ考ヘラレルノデゴザイマ
ス

○委員長(男爵東郷安君) 本案ニ付キ
マシテ御質問ガゴザイマセヌケレバ、
他日ノ機會ニ更ニ殘リノ御質問ヲ願
フコトニシマシテ、便宜上次に案件
ニ移リマス、戰時金融金庫法中改正法
律案

○政府委員(小笠原三九郎君) 戰時金
融金庫法中改正法律案ハ極メテ簡單デ
ゴザイマシテ、戰時金融債券ノ發行限
度デアリマス拂込資本金額ノ十倍ヲ、
拂込資本金額ノ三十倍ニ改メルト云フ
コトデアリマス、戰時金融金庫ノ資本
金ハ御承知ノ如ク三億圓デゴザイマス
ノデ、現在デハ三十億圓ダケノ發行限
度ヲ持ツテ居ル譯デアリマスガ、最近
戰時金融金庫ノ餘力ガ殆ドナクナツテ
參リマシタコトト、ソレカラ將來要リ
マス色々ナ事ヲ考ヘテ見マス、ドウ
シテモ三十倍即チ九十億圓程度ニ擴張
スル必要ガアリマス所カラ本案ヲ提出
シタ次第デゴザイマス、尙御參考迄ニ
申上ゲマス、現在ノ貸付額ハ二十二
億九千餘萬圓、有價證券所有額ガ八億
三千餘萬圓ト云フコトニナツテ居リマ

ス

○侯爵西郷吉之助君 此ノ條文ノ改正上ノコトハ直接關係ハナイカモ知レマセヌガ、戰時金融金庫ガ出來タ當初ノ大部分ハ、興業銀行デヤツテ居ツタ命令融資ノヤウナモノガ戰時金融金庫ニソツクリ行ツタノダト思ヒマスガ、現在尙其ノ後ノ戰時金融金庫デヤツテ居ルヤウナ性質ノモノヲ、矢張り現在モ興業銀行ニ殘ツテ居ルノデハナイカト思ハレマス、將來大藏當局ハ興業銀行デヤツテ居ル命令融資ノヤウナモノハ、戰時金融金庫ニ合併スルコト云フヤウナ御考ガ御アリニナルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山際正道君) 只今御話ノアリマシタ通り戰時金融金庫ガ設立セラレマシタニ付キマシテハ、從來興業銀行等デヤツテ居リマシタ所謂命令融資ニ依ルガ如キ性質ノ融資ハ、主トシテ戰時金融金庫デ取扱フト云フコトニ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、唯資金ノ融通ヲ致シマスニ付キマシテモ、古イ取引關係ナドガ從前カラアリマシテ、或ハ其ノ會社、其ノ地方トノ連繫ノ上ニ於テ、又放出セラレマシタル資金ノ其ノ後ニ於ケル連絡等ノ上カラ申シテモ、從前取引關係濃厚ナルモノナドニ於ケマシテハ、矢張り是ハ興業銀行ヲシテ取扱ハセル方ガ結局雙方ニ便宜ガ多ク、資金使用ノ効率ト云フ點カラ考ヘテモ然ルベキモノデアルト云フ所カラ、例外的ニ其ノ種ノモノハ興業銀行ヲシテ取扱ハシメルト云フ考方デ來テ居リマス、從ツテ今日モ此ノ種ノモノニ限りマシテ、興業銀行デモ依然取扱フトニ致シテ居ル次第デアリマス

○侯爵西郷吉之助君 戰時金融金庫デ

融資スル會社ハ、興業トカ其ノ他ノ民間銀行デ扱ヒニクイモノ、ドウモ其ノ事業内容ノ將來ノ見透シガ付カナイ危險性ガ多分ニアルモノハ普通銀行デ出サナイノデ、サウ云フモノハ戰時金融金庫ニ行ク、戰時金融金庫ノ融資ノ對象ナルモノハ、政府ノ御説明モアツタ通り、内容ノ良クナイモノニ出スト云フヤウナコトガアルノデ、借リル方デハ戰時金融金庫ノ窓ヲ潜ルノハドウモ自分ノ會社ノ事業ガ不健全ダ、危險デアルト云フヤウニ人カラ思ハレ勝ナモノダカラ、戰時金融金庫ニハ行キタクナイト云フ傾向ガ最初此ノ金庫ノ出來タ當初ハアツタヤウデアリマスガ、今日ノ現狀ハドウデスカ

○政府委員(山際正道君) 戰時金融金庫ガ設立セラレマシタ當初ニ於ケマシテハ只今御指摘ガアリマシタヤウニ、此ノ金庫ニ參ルコトガ何等カ經營ノ内容ニ付テ危險ト申シマスガ、不安ナ點ガアル爲ニ行クノデアリ、從ツテ此ノ金庫ニ取引スルコトハ、却テ信用ノ失墜スル所以ダト云フヤウナ考ヲ一部ニ抱イテ居ル向モアツタト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、漸次此ノ金庫ノ業務ノ發展ノ跡ヲ尋ネテ見マスト、最近ノ傾向ト致シマシテハ、最早斯様ナ考ヘ方ヲ以テ戰時金融金庫ニ參ルコトヲ躊躇シテ居ル向ハ殆ドナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ戰時金融金庫ノ使命ト云フモノガハツキリ認識ヲサレテ參リマシテ、寧ロ此ノ金庫ニ取引スルコトノ方ガ國家性ガ強イト云フカ、時局ノ要請ガ強イト云フ風ナ考ヘ方ヲ以テ、此ノ金庫ニ取引ノ申込ヲスル向ノ方ガ多クナツテ來テ居ルヤウナ現狀デアリマス、從ツテ今日金庫ノ經營ト致シマシテハ、寧ロ何

デモ彼デモ持込ム傾キニアルモノヲ、資金ヲ十分其ノ價值ヲ尊重シ使ハセルト云フ見地カラ、放漫ナ貸出ニ陥ラヌヤウニ注意スルコト云フ方ニ、ヨリ多クノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ程ノ狀況ニナリツ、アルヤウニ見受ケテ居ルヤウナ次第デアリマス

○侯爵西郷吉之助君 大變能ク分リマシタ、サウ云フ風ナ傾向デ進ンデ居ルト云フコトハ結構ナコトト思ヒマス

○委員長(野島實郎君) 本案ニ付キマシテ御質問ゴザイマスガ、只今ゴザイマセヌケレバ、他日又御質問ナサル機會ヲ留保致シマシテ次ノ案件ニ移リタイ思ヒマス、生命保險中央會法案

○政府委員(山際正道君) 生命保險中央會法案ノ提案ノ主タル理由ニ關シマシテハ過日大藏大臣ヨリ一應御説明申上ゲマシタ次第デアリマスルガ、尙ソレニ補足致シテ極ク概略ヲ御説明致シタイト存ジマス、何分條文ノ數ガ非常ニ多ウゴザイマスノデ、之ヲ一々申上ゲテ居リマスル、大變ナ時間ヲ取リマス關係モゴザイマスノデ、極ク概略ノ所ダケヲ申上ゲタイト存ジマス、大藏大臣ノ説明ノ際ニ申上ゲマシタ通り、此ノ法案ヲ立案スルニ至リマシタ直接ノ原因ト致シマシテハ、御承知ノ通り今日迄ノ非常ナ多額ニ上ル生命保險契約ニ於ケマシテハ戰爭ノ危險カラ生ズル所ノ事故ニ關シマシテハ、原則トシテ保險金ノ支拂ノ責任ヲ免カレ得ルト云フ契約ノ下ニ保險會社ハ生命保險契約ヲ致シテ參ツタノデゴザイマス、支那事變ガ始マリマシテ以來、契約上ハ左様關係ニハナツテ居リマスルケレドモ、矢張り是ハ種々ナ觀點カラ致シマシテ契約通りノ保險金ヲ左様ナ事故ガ起リマシタ場合ニハ、保險會社ガ拂

ツテ行ツタ方ガ宜イト云フ、主トシテ政策上ノ見地カラ保險會社ニ於ケマシテハ左様ナ契約ニモ拘リマセズ、戰爭規定ニ基ク現金ノ支拂ヲ繼續シテ參ツタノデゴザイマス、ソレガ段々大東亞戰爭ノ段階ニ入りマシテ、自然保險金ヲ其ノ關係ニ於テ支拂ハナケレバナラヌ所ノ額ガ著シク増加致シテ參ツタノデゴザイマス、元々徵收致シテ居リマスル保險料ノ方ニ於ケマシテハ左様ナ計算ニハナツテ居ラヌ關係ガアリマスルカラ、從前年多ニ互ツテ保險會社ガ蓄積致シマシタ餘力ヲ以テマシテ今日迄左様ナ支拂ヲ續ケテ參リマシタモノ、今後尙之ヲ繼續致サセテ參リマスト云フコトハ、却テ保險會社ノ基礎ニ影響ヲ及シマシテ、其ノ保險契約全般ノ確實情ニ多少トモ響クコトガアツテハナラヌ、ソレニ對シテ何等カノ對策ヲ講ゼバナラヌト云フ段階ニ今日參ツテ居ルヤウニ考ヘタノデゴザイマス、ソコデ何等ノ方法ニ依リマシテ保險會社ガ左様ナ意味デ支拂ヲ續ケテ參リマシタ保險金ノ支拂ヲ、國ノ責任ニ於テ支拂ヲ繼續スルヤウナコトニ切替ヘテ行ク必要ガアル、其ノ一ツノ方法ト致シマシテハ、他ニモ色々方法ガアリマセウガ、保險金ノ形ヲ以テ其ノ戰爭危險ニ依ル保險金ノ支拂ヲ、國ノ負擔ニ歸屬セシメルノガ宜シカラウト云フコトニ相成リマシテ、ソレヲ中心ニ此ノ法案ノ立案ガ行ハレタノデゴザイマス、即チ左様ナ業務ヲ直接ノ主體ト致シマスル同時ニ、尙極メテ小規模デハアリマスルガ、今日生命保險ノ再保險ト云フモノガ取引上ハレテ居リマスノデ、ソレヲモ加ヘ、併セテ生命保險ノ再保險機構ヲ強化シテ參ル、其ノ效果ヲ舉ゲルコトガ適當デアラウト

云フ考ヘ方カラ、ソレ等ノ點ヲ取繼メマシテ茲ニ生命保險中央會ト云フモノヲ設立致シ、其ノ中央會ヲシテ左様ナ仕事ヲサセルノガ適當デアラウト云フコトニ相成ツタ次第デアリマス、第一章ハ總則ノ規定デゴザイマスガ、一條、二條特ニ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、第三條ハ此ノ生命保險中央會ハ、保險會社ナドヲシテ自己ノ代理者トシテ所謂代理店ノ形デ業務ノ一部ヲ取扱ハセルコトガ出來ルト云フコトヲ規定致シテ居ルノデゴザイマス、主務大臣ノ指定スルモノデゴザイマス、是ハ差當リハ大シテ考ヘラレルモノモゴザイマセヌガ、將來或ハ外國ノ保險會社ナドモ指定ヲ要スル場合ガアルノデハナイカト云フコトガ考ヘラレマスルノデ、豫メ斯様ナ規定ニ致シテアルノデゴザイマス、生命保險中央會ニ基金ヲ設ケマシテ、其ノ額ヲ千五百萬圓ト致シ、第五條ニ於ケマシテ千五百萬圓ノ中政府ハ千四百五十萬圓ヲ出資スルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、大變半端ナ數字デゴザイマスガ、實ハ先程チヨツト申上ゲマシタ現在民間デ甚ダ小規模デハアリマスルガ、再保險ノ仕事ヲ致シテ居ル會社ガゴザイマス、即チ協榮生命再保險株式會社ト云フノデゴザイマスルガ、是モ此ノ際此ノ生命保險中央會ニ合流致サセマシテ、其ノ關係ニ於テ現在其ノ會社ノ拂込金ガ五十萬圓デアリマスノデ、ソレヲ政府ノ十分加ヘマシテ千五百萬圓ノ基金ニ致サウ、斯ウ云フ計算カラ政府ノ出資ヲ千四百五十萬圓ト致シタヤウナ次第デアリマス、六條、七條、八條、ソレカラ九條ノ規定、又十條ニ於テハ營業稅ヲ課セズト云フ規定ニナツテ居リマスルガ、是等ノコトハ此ノ

種ノ非常ナ公益的ナ仕事ヲ目的ト致シ
マスル特殊法人ニ付キマシテハ、何ト
申シマスルカ、例文ノ規定セラルル
事項デゴザイマシテ、格別此ノ際申上
ガルコトモナイヤウニ存ジマス、尙十條
ノ第二項ニ信託業務ニ關スル規定ガ
ゴザイマスガ、是ハ後程申上ゲタイ
存ジマスガ、生命保險中央會ニモ信託
業務ヲ取扱ハセルコトニ致シテゴザ
マスノデ、租稅法規ノ適用上ハ、生命
保險中央會ノ行フ信託業務ハ、信託會
社ノ行フ場合ト同ジニ取扱フト云フ趣
旨ガ此處ニ認メテアルノデゴザイマ
ス、尙十一條ニ參リマシテ、非常ニ特
殊ナ法人デゴザイマスカラ、其ノ改正
ヲ必要トスル事由ガ生ジマシタヤウナ
場合ニハ、別ニ法律ヲ制定致シマシ
テ其ノ場合ノ措置ヲ考ヘルヤウニ此
ノ規定ヲ掲ゲテアルノデゴザイマス、
第二章ハ役員ニ關スル規定デゴザイマ
スガ、是モ此ノ種ノ特殊法人ニ大體共
通ナ規定デゴザイマシテ、特ニ申上
グルコトモナイト思ヒマス、唯一點役員
ノ選任ノ方法ニ付テデゴザイマスガ、
十六條デ理事長、監事及評議員ハ主務
大臣ガ之ヲ命ズルコトニナツテ居リマ
スガ、副理事長及理事ハ理事長ノ推薦
シタ者ノ中カラ主務大臣ガ之ヲ命ズル
コトニ致シテアルノデゴザイマス、此
點ガ通常ノ特殊ノ法人ノ場合トハ稍
趣ヲ異ニシタ規定ニ相成ツテ居リマ
ス、ソレカラ第三章業務ノ規定ガ此ノ
中央會ノ法律ノ中デ主要ナル點デゴザ
マスガ、其ノ第十九條ニ先ヅ通常ノ場
合ニ此ノ中央會ガ行ヒマス此ノ業務ノ
種類ガ掲ゲテアルノデアリマス、其ノ
第一項第一號ハ生命保險ニ於ケル戰爭
危險ノ再保險ノ引受デゴザイマスガ、
是ハ冒頭ニ申上ゲマシタ普通ノ生命保

險契約ニ於キマシテ、戰爭危險ノ部分
ヲ再保險ノ形ニ於テ生命保險中央會ガ
引受ケル其ノ仕事ヲ、即チ茲ニ掲ゲテ
アルノデゴザイマス、ソレカラ第二號
ノ「戰爭死亡傷害保險法ニ依ル保險ノ
引受」ハ、是ハ政府ノ損失補償ノ下ニ國
庫ノ負擔ニ於テ實行致シテ居リマスル
戰爭死亡傷害保險ニ付キマシテハ、此
ノ生命保險中央會ガ元受トナリマシ
テ、各保險會社ヲ其ノ代理店ト致シマ
シテ、茲ニ集中ヲ致シマシテ、保險ノ
引受ヲ致サウト云フコトヲ考ヘテ居ル
デゴザイマス、即チ現在ノ場合ニ於キ
マス、保險會社ガ個々ニ政府トノ間
ニ補償契約ヲ結ンデ、戰爭死亡傷害保
險ノ取扱ヲ致シテ居リマスガ、今度ノ
法案ニ於キマシテ、ソレヲ全部生命保
險中央會ニ集中致シマシテ、政府トノ
關係ハ中央會ト政府トノ間ニ損失補償
ダケ解決ヲスル、斯様ナコトヲ考ヘ
テ居ル次第デゴザイマス、第三號
ノ「標準下體生命保險ノ引受及第一
號ニ掲グルモノヲ除ク」外標準下體
生命保險ノ再保險ノ引受「トゴザイ
マス」ハ、御承知ノ通り標準以下ノ
弱イ體ノ對象トスル所ノ生命保險ト
云フモノハ、通常ノ保險ノ場合ニ於キ
マシテハ餘リ行ハレ難イ性質ノモノデ
ゴザイマス、ソコデ此ノ中央會ハ進
デ左様ナ標準下體ノ生命保險ノ引受モ
致シマスルシ、又保險會社ガ一部ヤウ
ニ付キマシテハ、再保險モ此ノ中央會
デ引受ケマシテ、標準下體生命保險ノ
方モ出來ルデ普及ヲ見マスルヤウニ
致シテ參リタイト云フ所カラ、此ノ第
三號ハ掲ゲラレテ居ルノデゴザイマ
ス、ソレカラ第四號ハ「第一號及前號
ニ掲グルモノヲ除ク」外生命保險ノ再

保險ニ關スル取引「デゴザイマスガ、
是ハ普通ノ生命保險デゴザイマシテ
モ、相當繼リマシタ額ノモノヲ保險會
社ノ危險分散ノ見地カラ、再保險ニナ
スコトハ甚ダ便宜ナノデゴザイマスガ
ラ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、此ノ
中央會ハ、其ノ再保險ヲ引受ケルト同
時ニ又中央會ト致シマシテモ、ソレヲ
各保險會社ニ再々保ヲ致シマシテ、所
謂危險ノ分散ヲ圖ルト云フコトガ必要
ナ場合ガアルト考ヘラレルノデアリマ
ス、ソコデ茲ニゴザイマスル通り、生
命保險ノ再保險ニ關スル取引ト云フ表
現デソレ等ノコトヲ現ハシテ居ルノデ
ゴザイマス、第五號ハ、以上申上ゲマ
シタ各種ノ保險ニ關シマシテ、ソレニ
附帶シタ業務ガゴザイマスル場合、ソ
レヲモ營ムト云フコトガ掲ゲテアルノ
デゴザイマス、特ニ此ノ第二號ニ於キマ
シテ、「前項第一號ノ再保險ノ引受ヲ爲
ス金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリ
マスガ、所謂生命保險中央會設立ノ最
初ノ考ヘ方ト致サレマシタ戰爭危險
ノ國デ負擔ヲスルト云フ關係カラ、然
バ如何ナル高額ノ戰爭危險ヲモ國家ガ
ソレヲ保險スルカト云フ點ガ問題ニナ
ルノデアリマスノデ、ソレニハ自ラ矢
張り一定ノ限度ヲ設ケテ、國ガ其ノ負
擔ニ於テ解決ヲスル金額ト云フモノ
ハ、適當ナル所ニ止メルノガ至當デア
ラウト云フ考カラ致シマシテ、命令ヲ
以テ其ノ金額ノ制限ガ出來ルヤウナコ
トト致シマシテ、斯様ナ規定ヲ設ケテ
アルノデゴザイマス、此ノ十九條ガ當
面行ヒマス業務ノ範圍デゴザイマス
ガ、尙第二十條ニ於キマシテ先程チヨ
ツト觸レマシタガ、中央會ガ支拂ヲ致
シマスル保險金ニ付キマシテハ信託ノ
引受ヲ爲シテモ宜シイト云フコトヲ規

定致シテアルノデゴザイマス、即チ保
險會社ガ拂ヒマス保險金ニ付キマシテ
其ノ保險金ヲ直チニ渡シテシマフト
カ、或ハ又態、他ノ然ルベキ機關ニ移
ストカ云フコトヲ致シマセヌデモ、若
シ委託者ノ希望ガアリマス場合ニハ、
其ノ保險金ヲ對象ト致シマス所ノ信託
契約ヲ結ビマシテ、始メカラ其ノ保險
金ノ支拂ニ付テ信託ノ業務ヲ行ヒ得ル
ト致シマスナラバ、相互ニ便益ガ多ウ
ゴザイマスシ、又國家のニモ利益ガ多
カラウト云フ考ヘ方カラ致シマシテ、
此ノ第二十條ニ依リマシテ、特ニ其ノ
支拂保險金ニ付テハ信託ノ引受ヲ爲シ
得ルト云フコトヲ規定致シタ譯デアリ
マス、信託業法云々トゴザイマス第二
項ノ規定ハ、斯様ナ場合ニ於キマシテ
信託會社ノ營ミマス信託業務ト權衡ヲ
トリマシテ、必要ナル規定ヲ置イテ居
ルノデゴザイマス、ソレカラ第二十一
條ハ將來生命保險中央會ガ其ノ設立ノ
目的ヲ達成致シマス爲ニ、十九條、二
十條デ掲ゲマシタ業務ノ外ニ、尙必要
ナ業務ヲ行ヒタイト云フ希望ガアリマ
ス場合、主務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ
其ノ業務ヲ行フコトガ出來ルト云フ規
定デゴザイマス、ソレカラ第二十二條
ハ外國ノ保險會社ニ對シマシテ、此ノ
生命保險中央會ハ必要ニ應ジテ出資ヲ
スル、其ノ外國ノ保險會社ニ出資ヲス
ルコトモ出來マスシ、或ハ又外國保險
會社ノ親會社ノ立場ニ於キマシテ、生
命保險ノ再保險ノ取引モ出來ルト云フ風
又再々保ニ出スコトモ出來ルト云フ風
ナ外國ノ保險會社トノ取引ガ相當シ
マシタ場合ヲ考ヘマシテ、其ノ權能ヲ認
メテ居ルノデゴザイマス、尙第二十三
條ハ此ノ中央會ガ其ノ業務ノ目的ヲ達
成致シマス爲ニ必要ガアル場合ハ、積

極のニ政府ノ方カラ必要ナル業務ノ施
行ヲ命ズルコトガ出來ルコトニ致シテ
アルノデゴザイマス、第二十四條ハ、
是ハ普通ノ保險會社ノ場合ト同様ノ規
定ガアルノデゴザイマスガ、他ノ生命
保險會社ノ狀況ガ、此ノ中央會ヲシテ
其ノ業務若ハ財産ノ管理ヲ行フタリ、
或ハ所謂營業ノ讓渡ヲサセタリ致シマ
シテ、何ト申シマスカ、稍、經營ノ面
ニ於テ十分ナクナリマシタ保險會社
ノ業務ヲ、安全ニ引繼イデ參ラセルコ
トガ必要ナ場合ガ起リ得ルト考ヘマシ
テ、丁度保險業者ニ關係致シマシテ、
同ジヤウナ規定ガアリマスノヲ此ノ方
面ニモ移シマシテ、同様ナ會社ノ管理
ヲ云フコトヲ、此ノ第二十四條規定致
シテアルノデゴザイマス、前段中央會
ガ信託業務ヲ營ムコトガ出來ルヤウニ
申上ゲマシタガ、尙後ノ規定ニ於キマ
シテ、一般生命保險會社ニ於キマシテ
モ信託業務ノ兼營ヲ認メルコトニ致シ
マシテ、從ヒマシテ信託業務ノ兼營ヲ
認メテ居リマス規定ガ前段ノ規定デ、
其ノ管理ナリ、或ハ營業ノ讓渡ナリヲ
致シマシタ場合ニ於キマシテ、矢張り
其ノ信託ニ關スル部分モ承繼スルト云
フコトヲ此處ニ掲ゲテアルノデゴザイ
マス、ソレカラ第二十五條ノ規定ハ、
政府ニ於キマシテ中央會ノ目的ヲ達成
致シマス爲ニ必要ナル場合ニ於キマシテ
ハ保險會社ニ對シマシテ、例ヘバ代理扱
ヲセヨトカト云フヤウナ生命保險中央
會ノ業務ノ一部ヲ取扱フ命ズルコトガ
出來マスシ、又生命保險中央會ノ業務ニ
保險會社ハ協力セヨト云フコトヲ命ジ
得ルヤウナ權能ヲ規定致シテアルノデ
ゴザイマス、此ノ協力命令ノ内容ニ付
キマシテハ、色々ナ場合モ想像出來マ

セウガ、例へば或種ノ保險ニ付テハ、或制限以上ノモノハ再保險ニ出スヤウニト云フヤウナコトモ、一ツノ場合トシテ考ヘラレト思ヒマス、ソレカラ二十六條ノ規定ハ、此ノ法律ノ全體ノ仕組ノ前提トナツテ居リマス、從前ノ生命保險契約ニ於ケル戰爭危險ニ依ル保險金ノ支拂ノ點ニ關シマシテ、假令生命保險契約自體ニ別段ノ定ガアツタト致シマシテモ、一定金額ニ付テハ保險會社ト云フモノハ戰爭危險ニ依ル保險金ノ支拂ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ、茲ニハツキリト認メテアルノデゴザイマス、之ニ依リマシテ、今後ハ保險會社ハ義務ト致シマシテ、或部分ハ戰爭危險デ其ノ事故ガ起リマシテモ、必ズ保險金ノ支拂ヲシナケレバナラヌ、而シテ其ノ支拂ハレハ保險金ニ付テハ、前ニ申上ゲマシタ再保險ノ形デ國ノ負擔ニ切り換ヘテ行ク、斯ウ云フ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマス、第二項ハ保險會社ニ對シマシテ、其ノ扱ツタ生命保險ニ於ケル戰爭危險ヲ、此ノ中央會ノ再保險ニ必ズ出サネバナラヌト云フコトヲ、裏カラ規定致シテ居ル次第アリマス、第四章ハ經理ニ關スル事項デゴザイマス、二十七條ハ事業年度ニ關スル規定デゴザイマスガ、二十八條ニ於キマシテハ、此ノ中央會ノ主たる仕事ニナリマスル戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ付テハ、其ノ他ノ業務ト區分ヲ致シマシテ、收支ヲ經理スルヤウニ命ジテアルノデゴザイマス、其ノ理由ハ、國庫ノ負擔ニナリマスル關係、又其ノ關係カラ生ジマスル經理上ノ色々ナ方法ガ他ノ業務トハ自ラ違フ點ガゴザイマスルノデ、他ノ收支トハ區分經理スルコトニ致シテアルノデゴザイマス、其ノ

他通常此ノ種ノモノニ必要ナ經理上ノ諸規定ガ設ケテアリマスガ、特ニ申上グベキコトハ、此ノ三十二條ニ於キマシテ政府ノ出資ヲ、何ト申シマスルカ、所謂後配株ノ立場ニ置キマシテ、民間出資ノ方ヲ或程度優先サセテ利益ノ配當ヲ爲シ得ルコトヲ規定致シテ居リマス點ガ一ツゴザイマス、ソレカラ特ニ申上グベキハ第三十三條デゴザイマシテ、是ハ先程申上ゲマシタ戰爭危險ノ保險ニ付テハ特別ノ經理ヲセヨト云フ其ノ實體ノ内容ガ掲ゲラレテ居ルノデゴザイマス、即チ先ヅ其ノ關係カラ剩餘金ガ生ジマシタナラバ、ソレヲ特別ノ準備金トシテ積立テテ置ケ、其ノ準備金ハ將來戰爭危險ノ保險ニ關スル業務デ今度損出タ場合ニハ、先ヅ以テソレカラソレヲ補填セヨ、ソレカラ尙其ノ損ヲ補填シテモ、其ノ準備金ノ方ニ餘剩ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、政府カラ別途戰爭危險ノ保險ニ關スル業務ニ依ル損失ニ付テハ損失ノ補償ヲ受ケマスカラ、其ノ一旦受ケタ補償金ノ償還ヲスルヤウニ、尙其ノ償還ヲシテモ餘剩ガ殘ツタ場合ニ於キマシテハ、是ハ其ノ損益ノ生ジマシタ元デアリマス中央會ニ對スル再保險ヲ出シテ來タ生命保險會社ニ對シテ、適當ナ方法デソレヲ戻シテヤレト云フコトヲ規定致シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ第三十四條ガ、事柄トシテハ前後致シマスガ、是ハ戰爭危險ノ保險ニ關スル業務上ノ損失ト云フモノハ、國ガ補償ヲスルコトヲ云フコトガ書イテアルノデゴザイマス、第三十六條ニ、政府ハ中央會ノ借入金ノ中五億圓ヲ限ツテ其ノ元利ノ支拂ノ保證ヲスルコトヲ云フコトガゴザイマスガ、是ハ實ハ政府カラ貰ヒマス所ノ補償金デ收支ハ

償フ譯デハアリマスケレドモ、其ノ補償金ヲ貰ヒマスル迄ノ間、相當期間ハ多額ノ金ヲ他カラ借りテ經營ヲシナケレバナラヌ金繰リノ狀態ガ起リ得マスノデ、左様ナ場合ニ於キマシテハ政府ガ元利保證ヲ致シマシテ、其ノ金繰リ圓滑ナラシメヨウト云フ趣旨ノ規定デゴザイマス、第五章ハ監督ニ關スル規定デアリマスルガ、大體此ノ種ノ法人ニ行ハレテ居リマスル監督ノ方法トサシテ違フ點モゴザイマセヌノデ、特ニ申上ゲル所モナカラウカト思ヒマス、第六章ハ罰則ノ關係デゴザイマス、第七章ハ外地ニ施行致シマス場合ニ勅令ニ依ル別段ノ定ヲ爲シ得ルコトヲ規定致シテゴザイマス、附則ニ於キマシテハ、先ヅ此ノ生命保險中央會ノ設立ニ關スル事務上ノ手續ニ關スル規定デゴザイマス、ソレカラ第五十四條ヲ御覽戴キマス、此處デ協榮生命再保險株式會社ヲ、此ノ規定ニ依リマシテ此ノ中央會ニ吸收スルコトヲ云フコトガ掲ゲラレテ居ルノデゴザイマス、其ノ他ノ規定ハ、斯様ナ金庫ノ設立ノ場合、又他ノ會社ヲ其ノ際ニ吸收ヲ致シマス場合ニ必要ナ手續上ノ諸規定デゴザイマス、ソレカラ第六十五條ニ於キマシテハ、戰爭死亡傷害保險ノ前段申上ゲマシタヤウナ方法デ取扱ツテ參リマスル必要上、現行ノ戰爭死亡傷害保險法ノ中ニ所要ノ改正ヲ行ハウト云フ規定デゴザイマス、第六十六條ガ普通ノ保險業法ヲ改正致シテ居ルノデアリマスルガ、其ノ内容ハ先程チヨット申上ゲマシタ生命保險事業ヲ行フ會社ガ其ノ支拂フ保險金ニ付テ信託業務ヲ行フコトガ出來ルト云フコトヲ附加ヘタ規定デゴザイマス、其ノ趣旨ハ先程チヨット申上ゲマシタ通り、斯様ナ制度ガ出來

マスルナラバ、契約者ニ於テモ、又資金ノ移動ト云フ點カラスル國ノ利益ト致シマシテモ適當デアラウト云フコトカラ、斯様ナ規定ガ設ケラレタ次第デゴザイマス、其ノ他ハ信託業務ヲ營ミマスル場合、固有ノ信託會社トノ權衡上、各種ノ手續ナリ又租稅負擔ノ關係ナリヲ同ジヤウニ取扱ヒマスル爲ニ、所要ノ規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマス、尙六十七條ニ於キマシテハ、貯蓄組合法ノ中デ、他ノ信託會社ナリ銀行ナリノ營ミマスル信託業務ト同ジヤウニ、此ノ中央會ナリ或ハ普通ノ生命保險會社ナリガ取扱ヒマスル信託業務ヲ、同ジク取扱フ必要ガゴザイマスルノデ、斯様ナ改正ヲ致サウト云フノデゴザイマス、甚ダ粗雑ナコトデゴザイマスルガ、概略ノ内容ヲ申上ゲマシルト以上ノ通りデゴザイマス

○委員長(男爵東郷安君) 如何デゴザイマスガ、本案ニ關スル御質問ハ此ノ次ニ致シマシテ、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト思ヒマス、御異議ナケレバ、是デ散會致シマスガ、明日ハ午後一時カラ開キタイト思ヒマス

午後三時四十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長	男爵東郷 安君
副委員長	子爵裏松 友光君
委員	侯爵德川 賴貞君
	侯爵中山 輔親君
	侯爵西郷吉之助君
	伯爵柳澤 保承君
	子爵六戸 功男君
	子爵大岡 忠綱君
	子爵松平 親義君
	子爵水野 勝邦君
	有吉 忠一君

政府委員	大藏政務次官 小笠原三九郎君	青木 一男君
	大藏省總務局長 山際 正道君	坂西利八郎君
	大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君	男爵高木 喜寬君
	大藏書記官 吉村 成一君	松本 丞治君
	同 樺田 光男君	河田 烈君
		男爵宮原 旭君
		瀧 正雄君
		磯貝 浩君
		中島德太郎君
		古壯健次郎君
		岩田 三史君